

# 2015年度決算 経営戦略進捗状況説明会

2016年5月



**住友金属鉱山株式会社**

代表取締役社長 中里佳明

SUMITOMO METAL MINING CO., LTD.

# 説明内容

I 12中計振り返りと15中計戦略

---

II 業績推移・資産内容

---

III 15中計の推進

---

IV 事業を取り巻く環境

---

V 業績ハイライト/資料編

---

# I . 12中計振り返りと15中計戦略

## I 12中計振り返りと15中計戦略

## II 業績推移・資産内容

## III 15中計の推進

## IV 事業を取り巻く環境

## V 業績ハイライト/資料編

# 本日のご説明内容（サマリー）

## 非鉄産業における経営課題

－ 中計発表および海外 I R ロードショーを回ったの感想 －

## 環境変化への対応

## 12中計および2015年度業績の総括

## コーポレート・ガバナンス

－ 海外投資家との対話を経て（買収防衛策ほか） －

# 1) 12中計の振り返り

## 12中計の重点項目

### 資源事業

シエラゴルダ プロジェクト  
推進  
モレンシー鉱山 拡張の推進  
セロベルデ鉱山 拡張の推進

銅権益の拡大

### 製錬事業

タガニートHPAL  
早期のフル操業移行  
電気ニッケル  
6万5千トン体制の完成  
播磨事業所  
硫酸ニッケル生産開始

ニッケル10万トン  
体制確立

### 材料事業

電池材料増産  
サファイア基板増産

成長軌道への  
基盤整備

## 12中計の目標に対して未達

シエラゴルダ鉱山の立ち上げ  
(主体的関与の遅延)

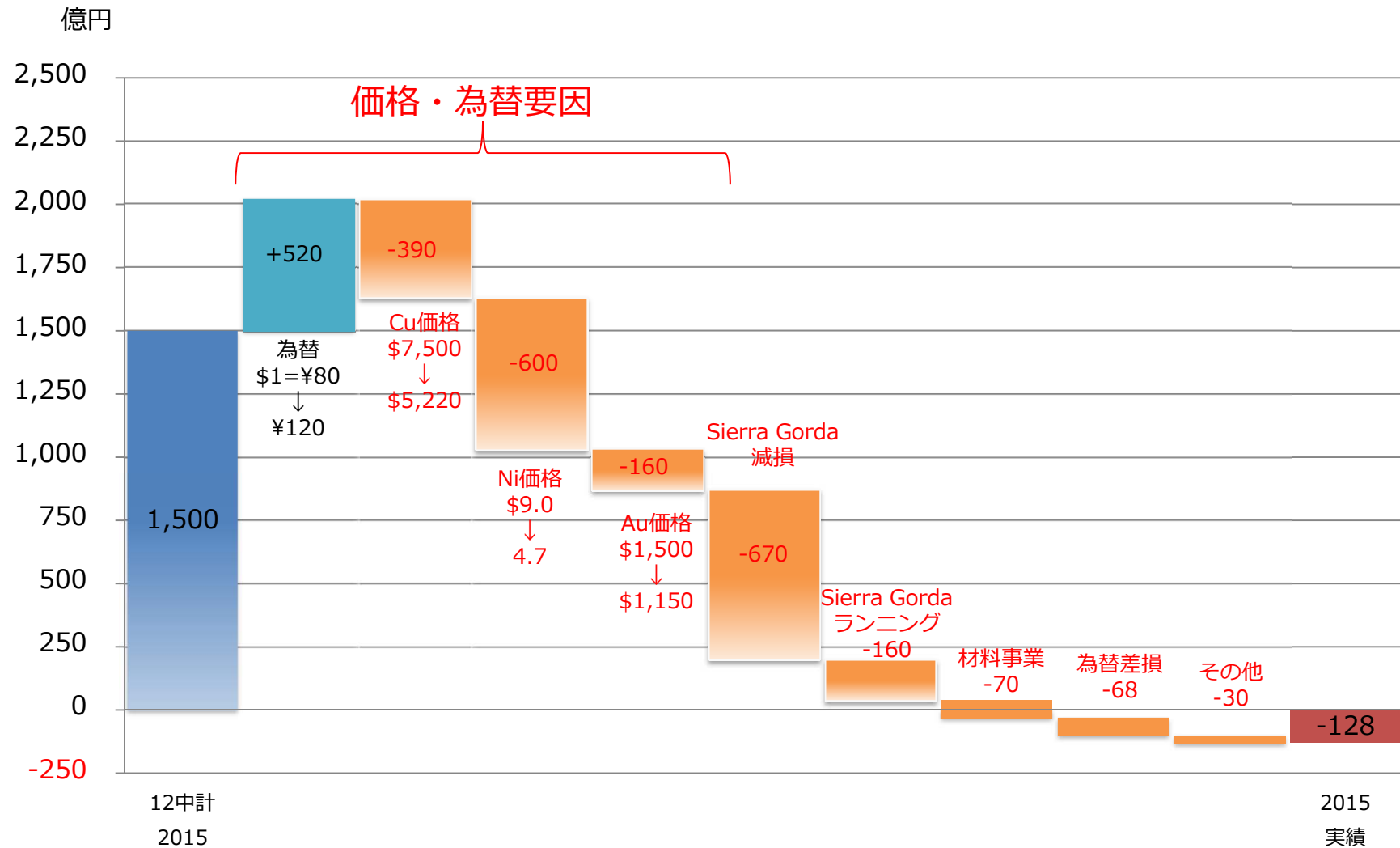
サファイア基板の撤退  
(コストダウン目標未達)

成長事業である  
LT/LNへ戦略転換

## 2) 12中計の達成状況 12中計の主要プロジェクト

プロジェクト名			09中計			12中計		
			2010	2011	2012	2013	2014	2015
資源	Cu	Sierra Gorda鉱山		● 参画決定				● 商業生産開始
	Cu	Morenci鉱山			● 拡張PJ 実施決定			● 拡張フル生産開始
	Cu	Cerro Verde鉱山				● 拡張PJ 実施決定		
製錬	Ni	電気ニッケル 6.5万トン	● 増産実施 決定			● 体制完成		
	Ni	Taganito HPAL					● フル操業開始	
	Ni	Goro						● 撤退
	Ni	播磨事業所 硫酸ニッケル				● 硫酸ニッケル 生産開始		
材料	電池材料						● NCA850t 体制完成	
	結晶材料				● サファイア 量産開始		● LT/LN 増産決定	● サファイア 撤退

### 3) 業績 12中計2015 vs 2015年度実績



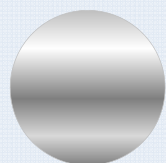
## 4) 長期ビジョン

世界の非鉄リーダー & 日本のエクセレントカンパニーをめざす

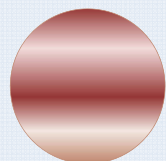
### ターゲット

#### 世界の非鉄リーダー

2021年度



ニッケル  
15万トン



銅権益  
30万トン



金  
30トン



新規材料  
経常利益50億円

#### 日本のエクセレントカンパニー

売上高 1兆円

※当期純利益 1,000億円  
(経常利益 1,500億円)

- ・ 長期ビジョンの実現に向けて着実に成長
- ・ 外部環境の変化を踏まえた戦略の練り直し

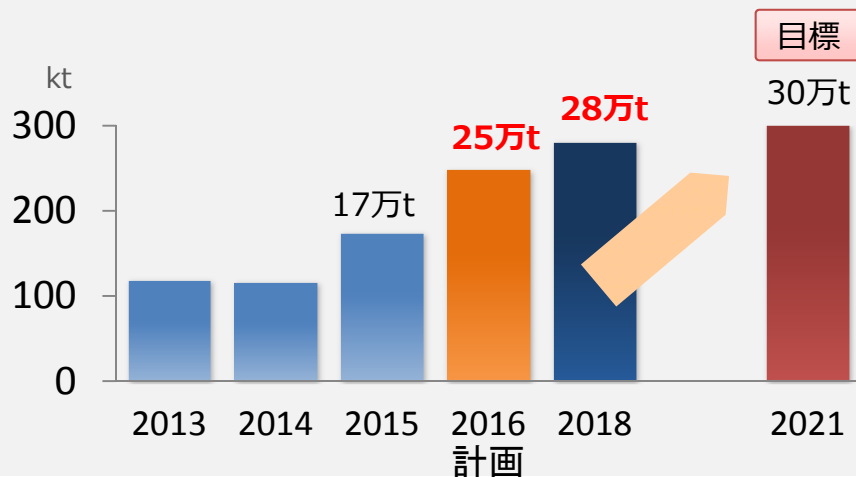
※「親会社株主に帰属する当期純利益」



## 5) 長期ビジョンへの取り組み

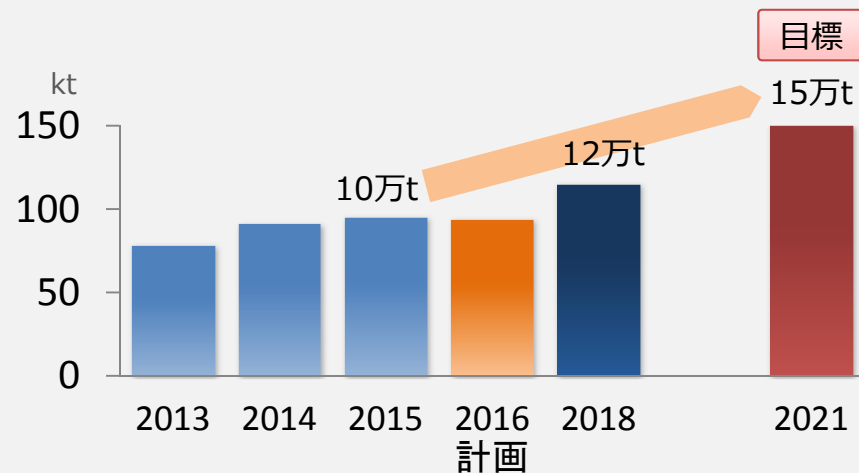
**Cu**

(鉱山権益分生産量)



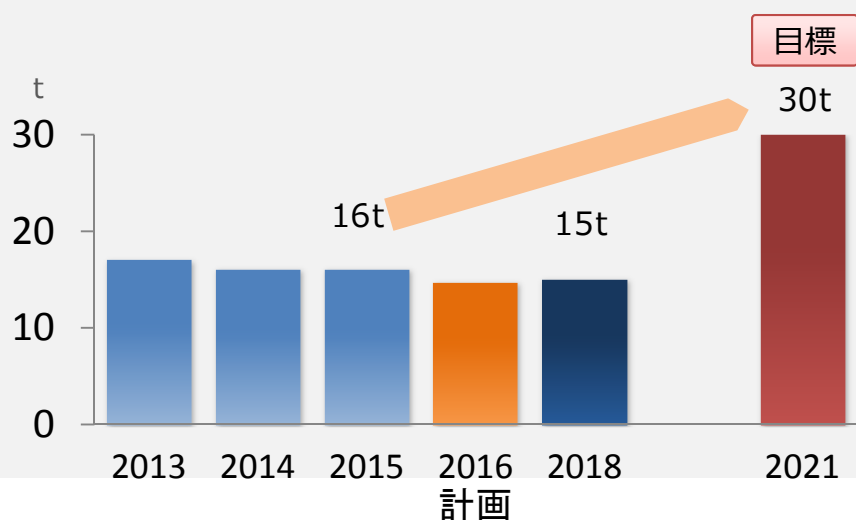
**Ni**

(年間生産能力)



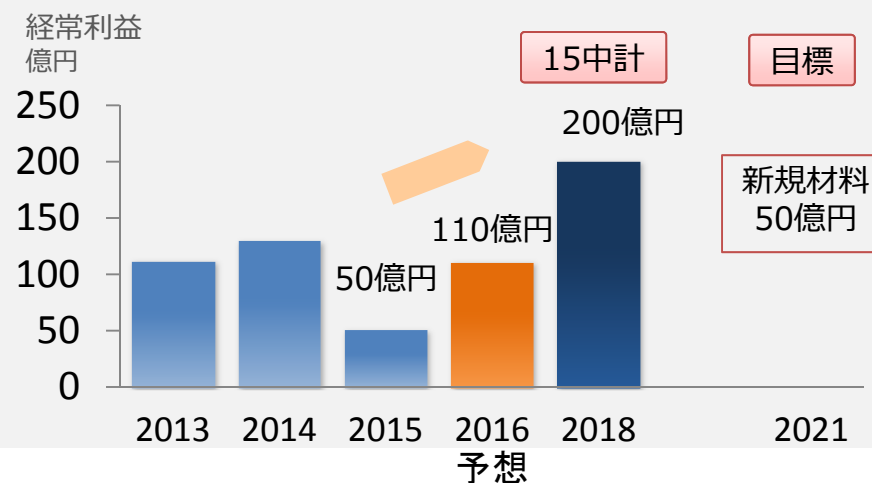
**Au**

(鉱山権益分生産量)

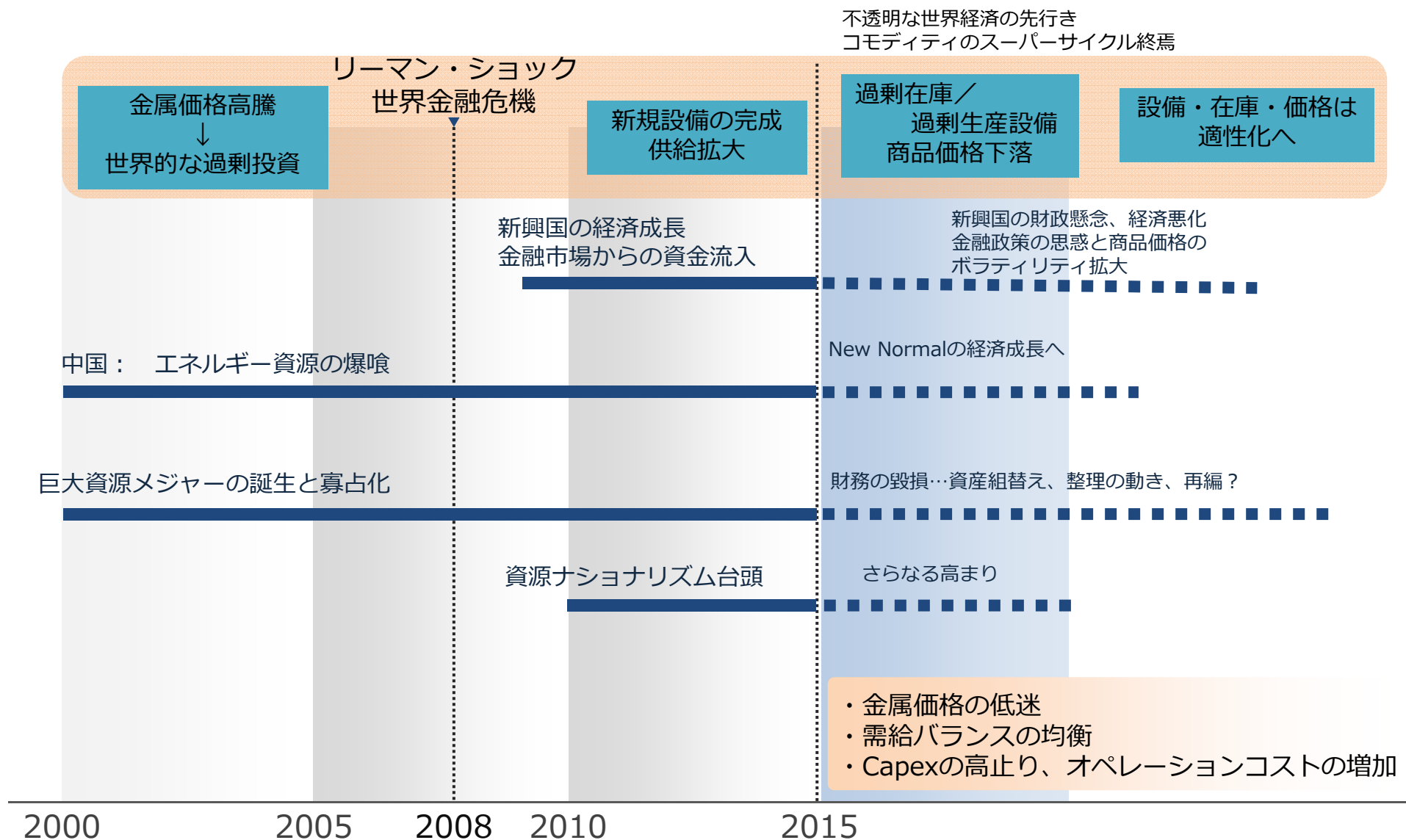


**材料事業**

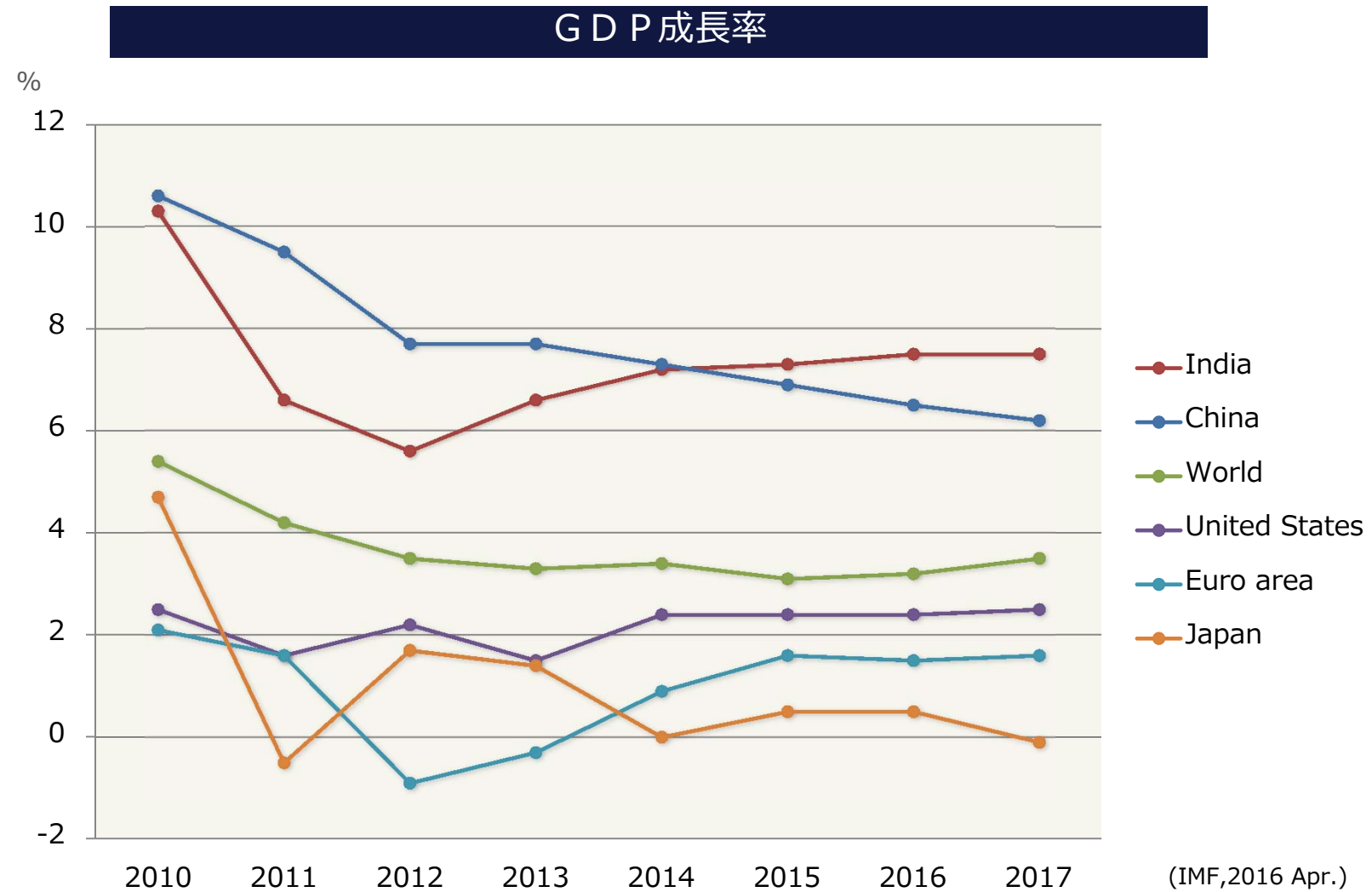
(経常利益)



## 6) 当社を取り巻く事業環境

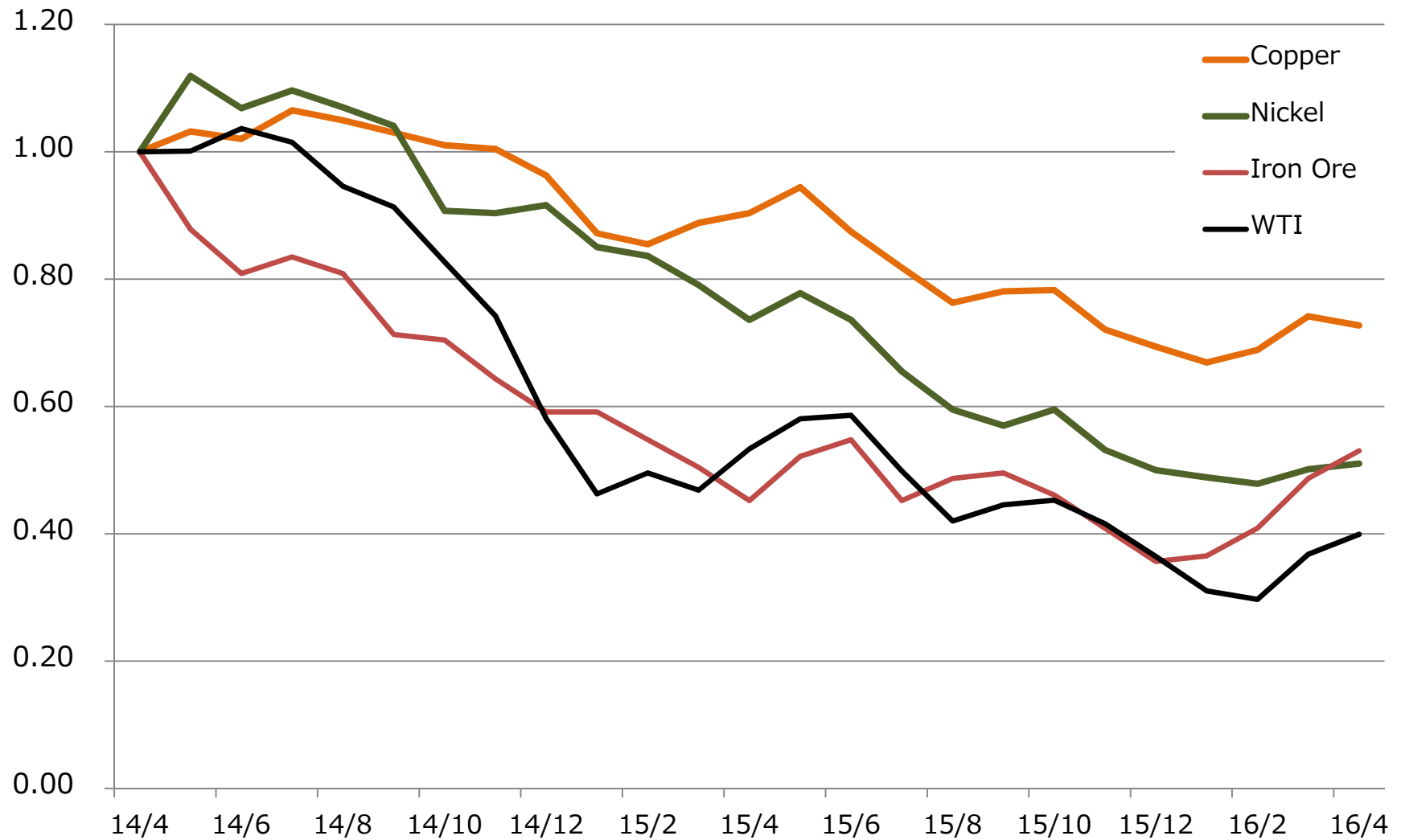


## 7) 世界の経済情勢



## 8) コモディティ相場推移

Index 2014/Apr=1.0



## 9) 15中計最重点事項

### 資源事業

- ・ シエラゴルダ銅鉱山のフル生産
- ・ 新規金鉱山権益の獲得

### 材料事業

- ・ 電池材料、LT/LN増産の収益貢献
- ・ 持続的な次世代商品の創生・移行

### 製錬事業

- ・ タガニートHPALの拡張
- ・ HPALの周辺技術で成長戦略を展開
- ・ 銅製錬事業の競争力強化

### 研究・開発

- ・ 新商品とプロセス開発



2016年度は  
低金属価格下での利益確保に注力

## 10) 15中計の主要プロジェクト

		プロジェクト名	2013年度	2014年度	2015年度	15中計	18中計以降
資源	Cu	Sierra Gorda鉱山			● 商業生産開始	● 2016 11万t体制 操業	● 第2期増産PJ
	Cu	Morenci鉱山		● 拡張フル生産 開始	● ● 権益追加取得 契約締結		
	Cu	Cerro Verde鉱山				● 2016 拡張フル生産 開始	
	Ni	Solomon				2018 ● 出鉱開始	
製錬	Ni	Taganito HPAL	● 開所式	● フル操業開始		2018 ● 3万6千t体制	
	Ni	Pomalaa Project				● FS実施	● 投資決定
	Ni	播磨事業所 硫酸ニッケル		● 第一系列生産開始		2016 ● 第二系列完成	
材料	電池材料			● NCA 850t 体制完成	● NCA 1,850t 体制	2018 ● 2017~ NCA 2,550t 体制	● 三元系 増産体制
	結晶材料 (LT/LN)				● 増産決定	● 2016 30万枚 体制    ● 2017 40万枚 体制	

# 11) 2016年度の取り組み

## 資源事業

シエラゴルダ：実収率の向上とコストカット  
操業鉱山：低コスト操業体制へ取り組み  
新規権益：金鉱山獲得に向け、新規プロジェクト参入

## 材料事業

電池・結晶の成長戦略の確実な実施と収益化  
新製品創生システムの構築  
顧客との関係強化

## 製錬事業

安定操業による低コスト化・利益確保  
需給・価格の変化に応じた戦略遂行  
投資タイミングの見極め

## 研究・開発

材料製品（結晶・電池・粉体）を最重視  
ニッケル・銅製錬のコスト低減策の研究・実現化

## その他

コーポレートガバナンスの強化  
統合報告書発行/ステークホルダーとの対話の促進

## Ⅱ.業績推移・資産内容

I 12中計振り返りと15中計戦略

Ⅱ 業績推移・資産内容

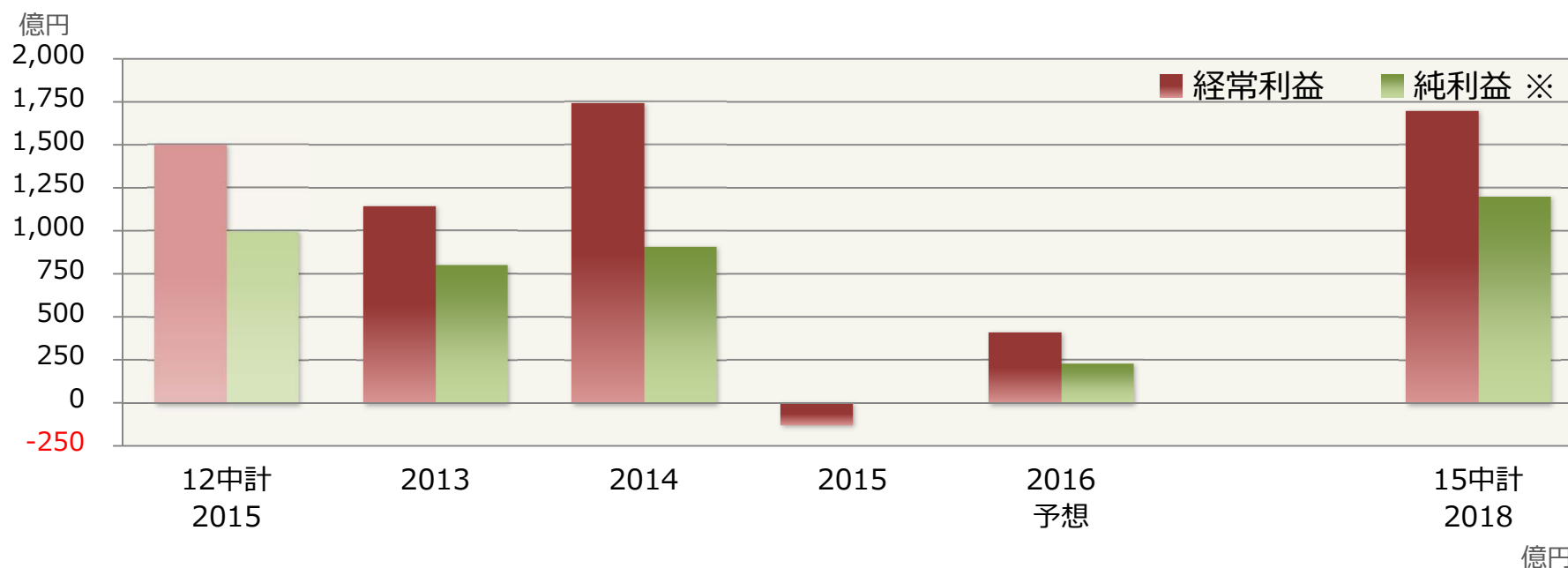
Ⅲ 15中計の推進

Ⅳ 事業を取り巻く環境

V 業績ハイライト/資料編

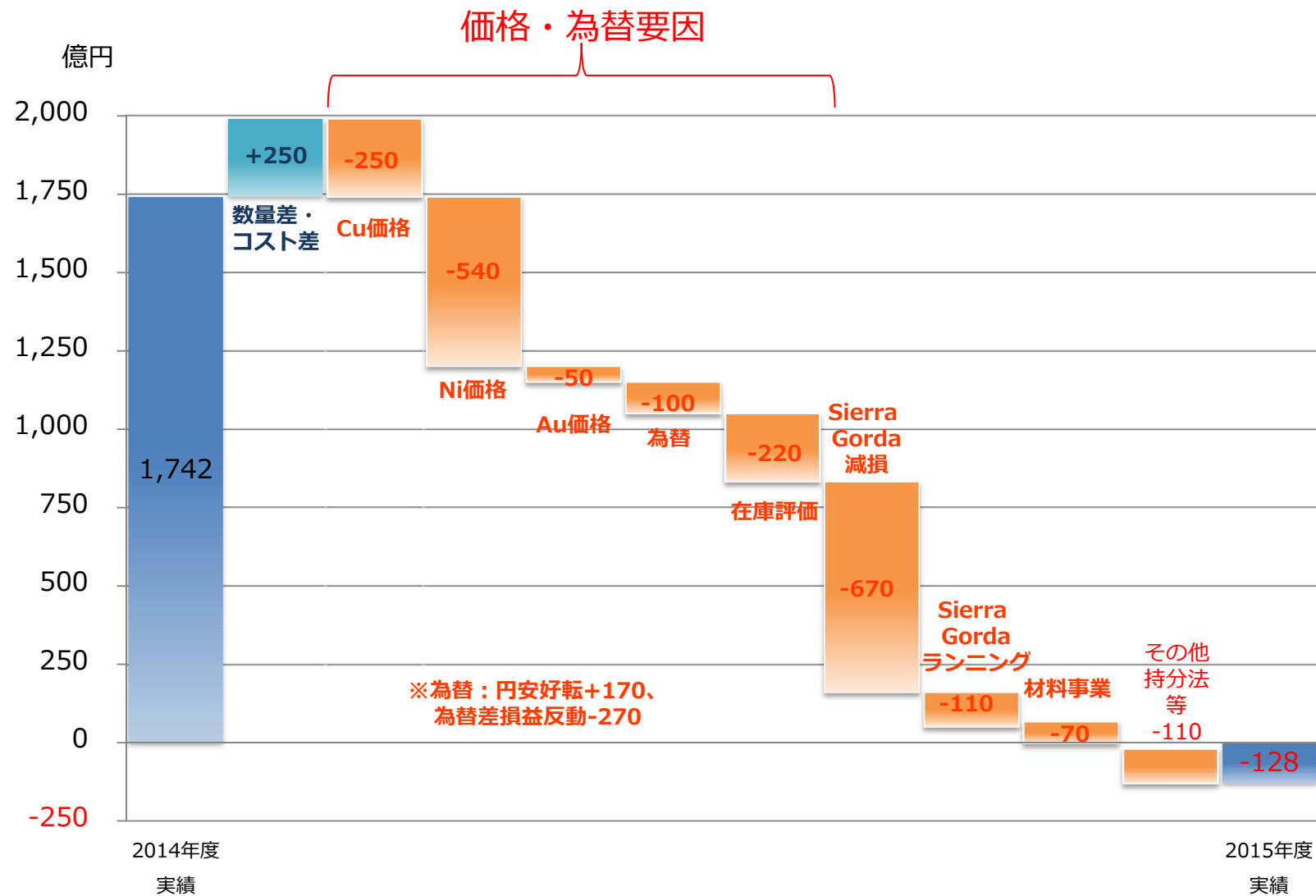


# 1) 経常損益推移

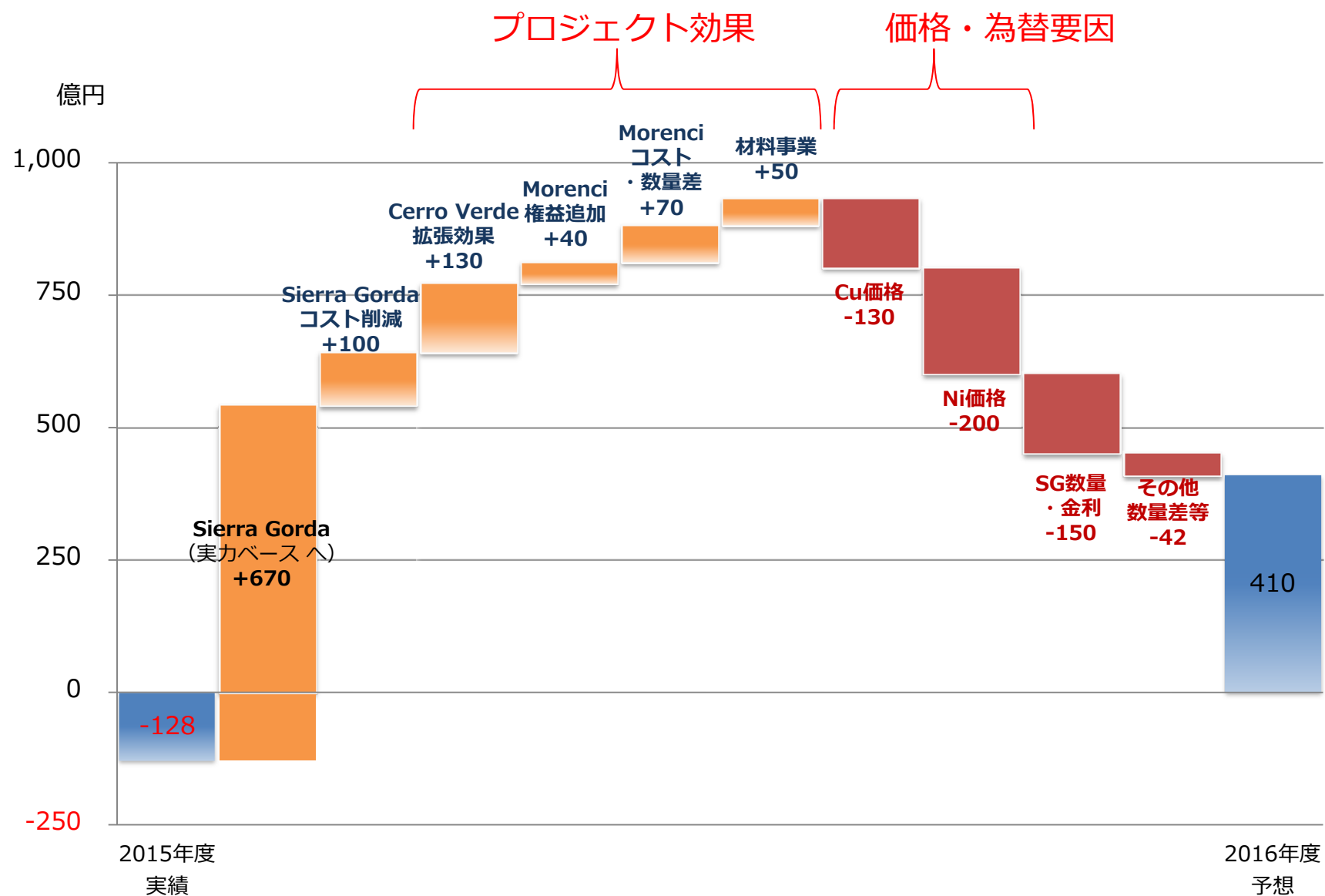


	12中計 2015	2013	2014	2015	2016 予想	15中計 2018
経常損益 (億円)	1,500	1,144	1,742	-128	410	1,700
※ 親会社株主に帰属する 当期純損益(億円)	1,000	803	911	-3	230	1,200
Cu価格 (\$/T)	7,500	7,104	6,554	5,215	5,000	6,000
Ni価格 (\$/lb)	9.0	6.5	7.6	4.7	3.75	7.0
Au価格 (\$/Toz)	1,550	1,327	1,248	1,150	1,200	1,150
為替 レート(円/\$)	80.0	100.2	109.9	120.2	110.0	120.0

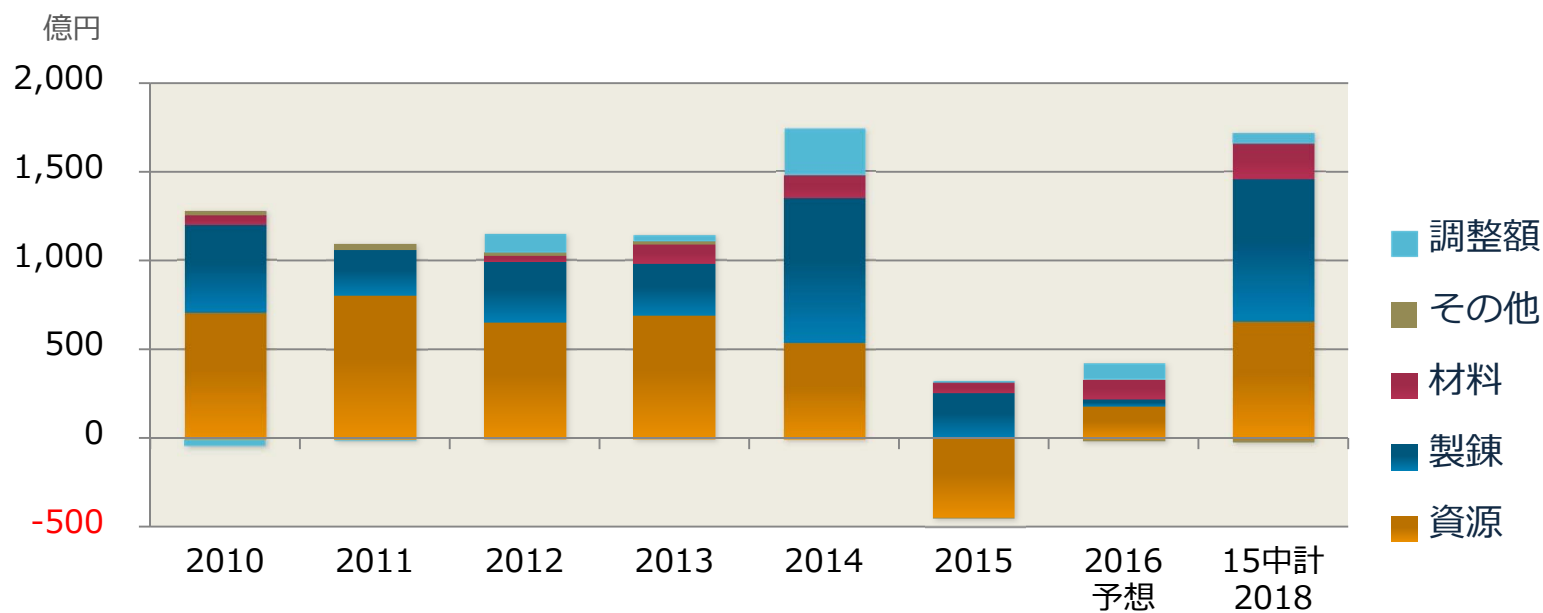
## 2) 経常利益分析 ①2014年度実績 vs 2015年度実績



## 2) 経常利益分析 ②2015年度実績 vs 2016年度予想



### 3) セグメント利益推移

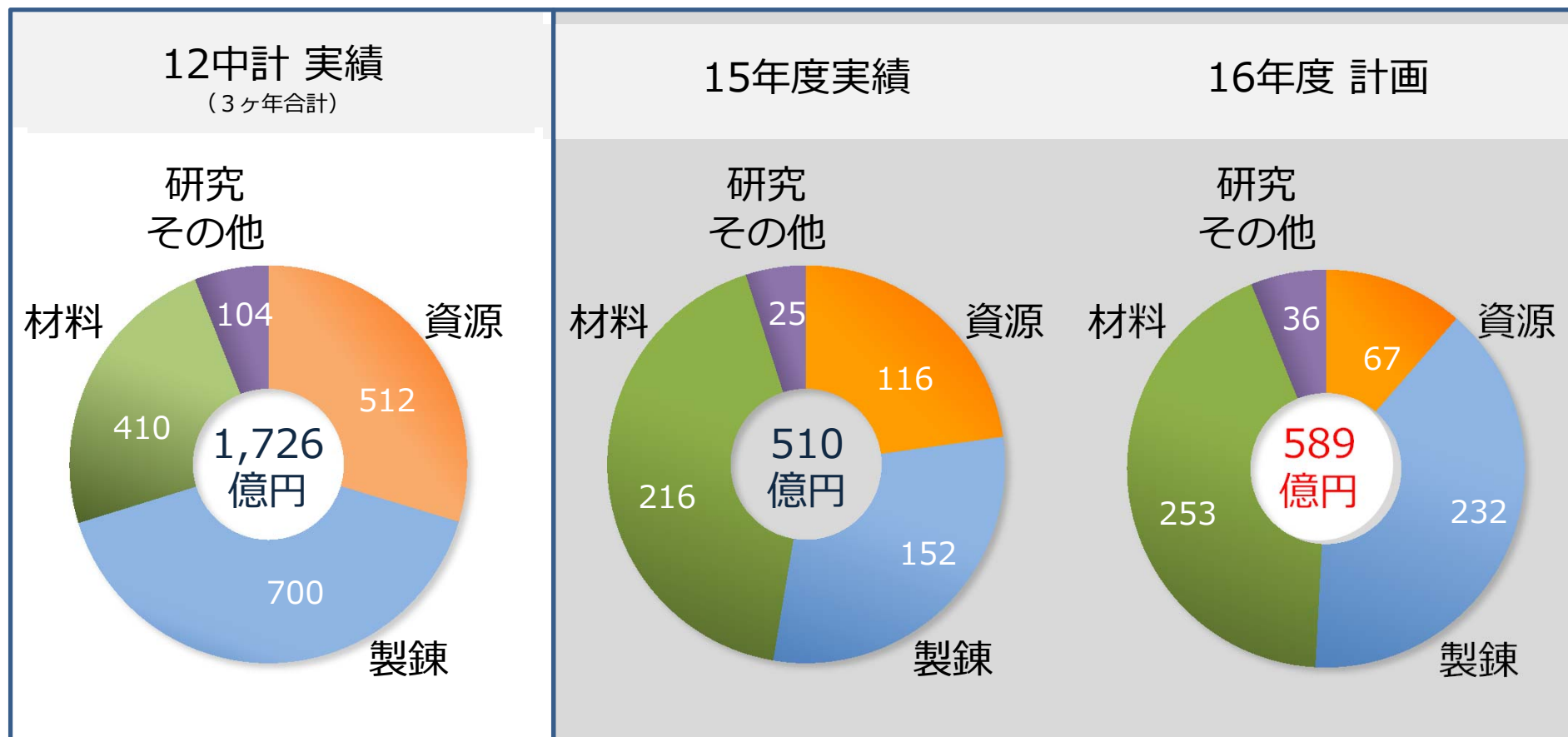


		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016 予想	15中計 2018
セグメント利益	資源	704	806	652	691	538	-443	180	660
	製錬	495	256	339	291	813	253	40	800
	材料	54	-3	38	111	129	60	110	200
	その他	23	34	16	16	-1	-8	-10	-20
調整額		-39	-5	105	35	263	10	90	60
経常利益計		1,237	1,088	1,150	1,144	1,742	-128	410	1,700

億円

## 4) 投資計画

億円

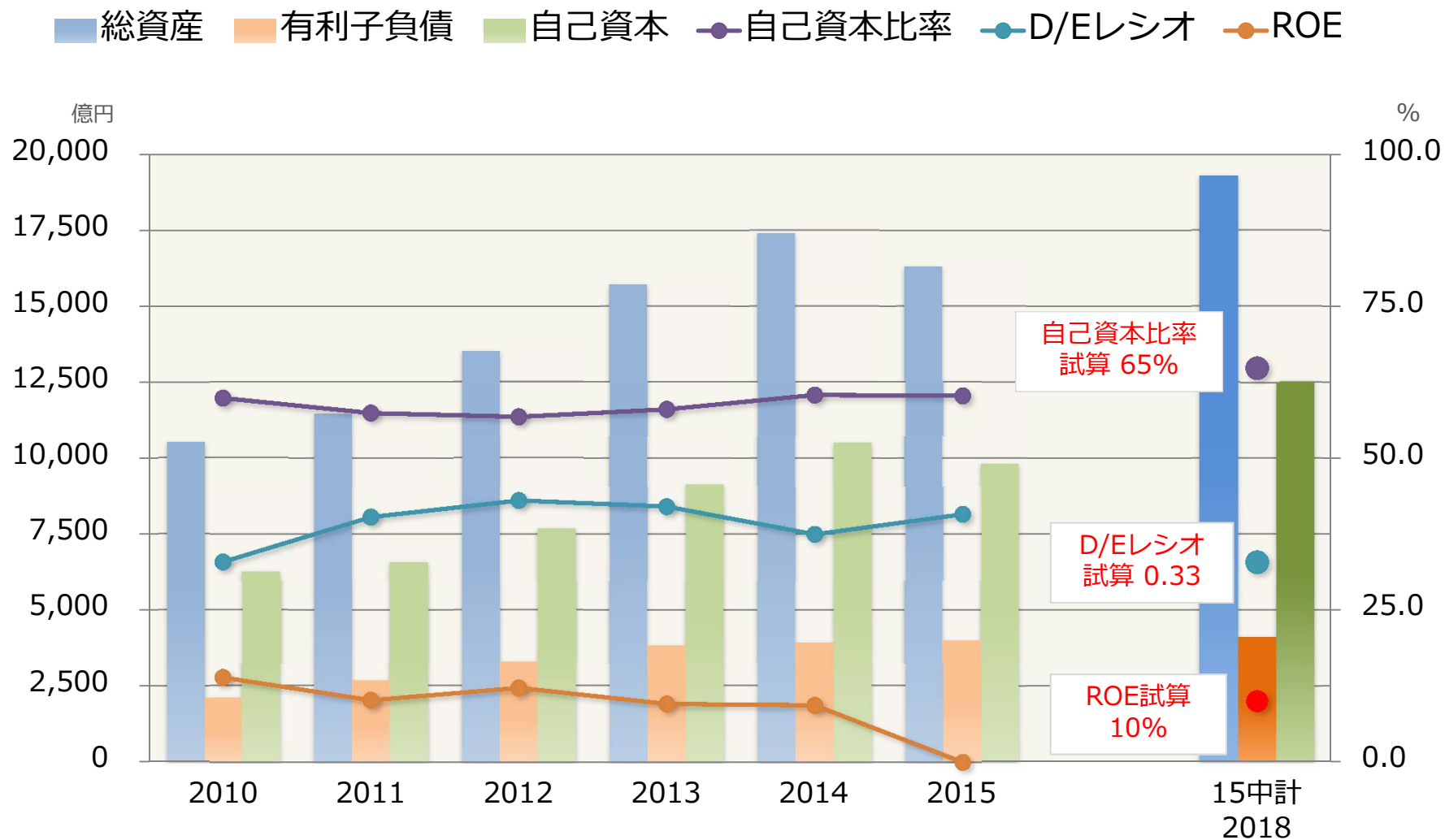


+

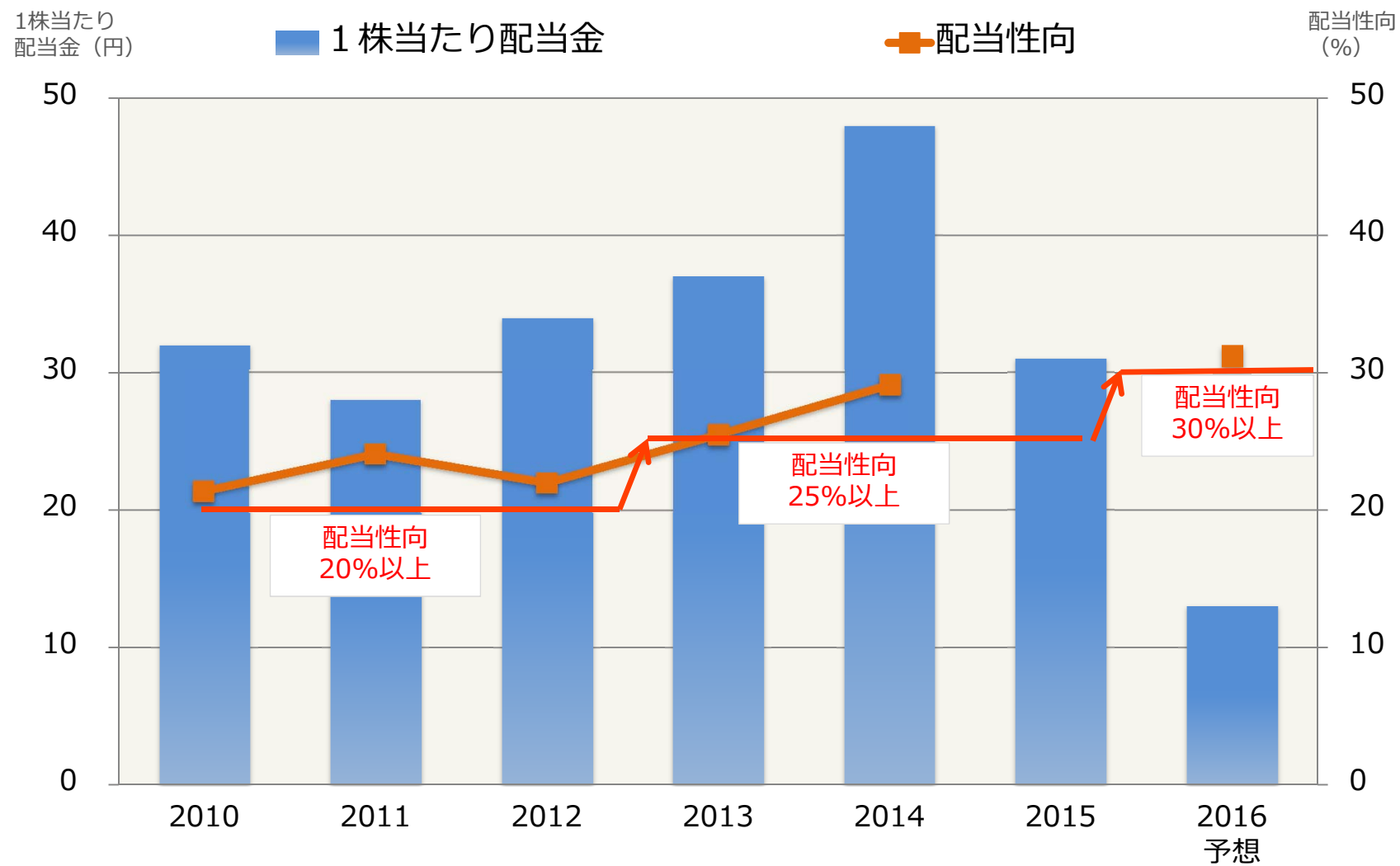
海外権益の取得

(Morenci 1,100億円)

## 5) 財務戦略 健全な財務体質の維持



## 6) 配当推移



## Ⅲ.15中計の推進

I

12中計振り返りと15中計戦略

II

業績推移・資産内容

III

15中計の推進

IV

事業を取り巻く環境

V

業績ハイライト/資料編



# 1) 資源 ①Cu 開発案件の完成 Sierra Gorda

## Sierra Gorda 鉱山 (チリ)

権益比率

KGHM	55%
SMM	31.5%
住友商事	13.5%



## 2016年度取り組み

### 生産量

2015年度 86千t → 2016年度 97千t

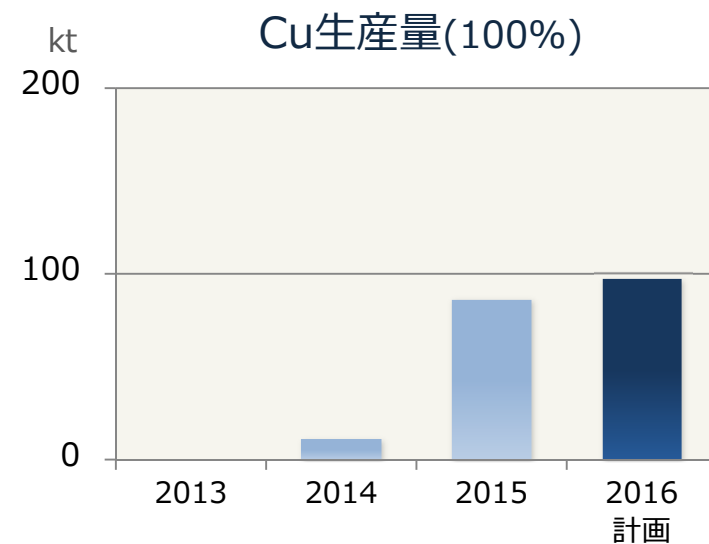
コストミニマム操業へ

### コスト削減

外注費用の削減などを中心に、大幅なコスト削減を実施

100億円の削減（当社持分法ベース45%相当、当社見込み）

キャッシュニュートラル体制を早期に確立



# 1) 資源 ②Cu 既存鉱山の安定した運営 Morenci

## Morenci鉱山 (米国・アリゾナ州)

**2016年2月 権益13% 追加取得契約締結**

権益取得価格 US\$1.0B (約1,100億円)

権益比率	FCX	85%→72%
	SMM	12%→25%
	住友商事	3% → 3%



## 権益追加取得スケジュール

**2016年2月 追加取得契約締結**

2016年6月目途

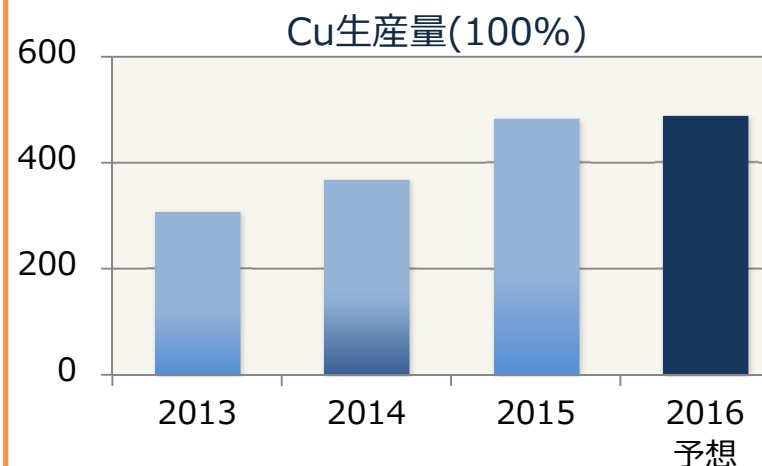
クロージング、権益追加取得完了 (予定)

権益13%増加により+40億円の利益貢献を見込む  
(年後半からの半期分)

## 生産量

2015年度 483千t → 2016年度 487千t  
拡張投資による大幅コスト減を見込む

kt



# 1) 資源 ③Cu 開発案件の拡張 Cerro Verde

## Cerro Verde鉱山 (ペルー) 拡張

権益比率

FCX	53.56%	起業費 \$4.6B
SMM	16.80%	
住友商事	4.20%	
その他	25.44%	



### 拡張内容・生産

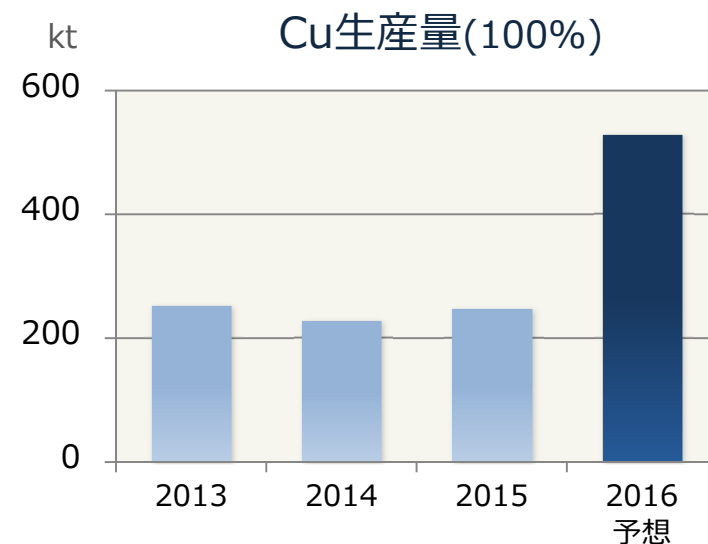
2016年3月 フル操業体制へ移行

#### 生産量

2015年度247千t → 2016年度 527千t

大幅増産による単位コスト減

増産効果により約+60億円の利益貢献を見込む



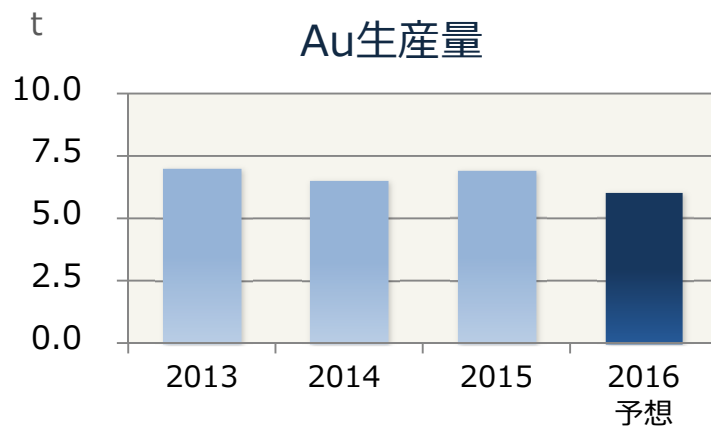
# 1) 資源 ④Au 既存鉱山の安定した運営 ～菱刈・Pogo～

## 菱刈鉱山 (鹿児島県)

権益比率 SMM 100%



- ・下部鉱体開発 順調に進捗
- ・2015年末 埋蔵量 169t (JIS基準)

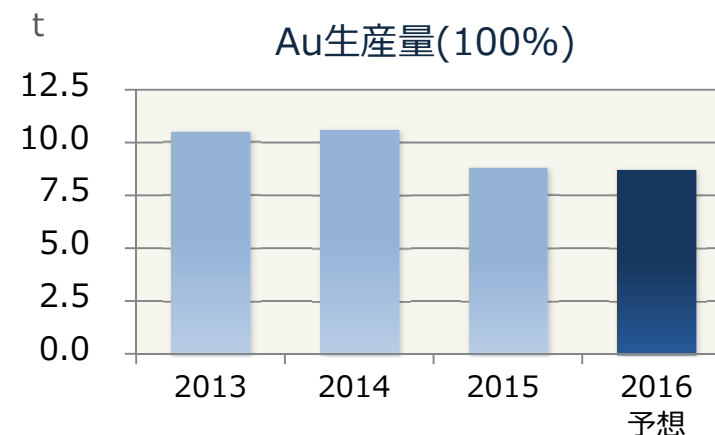


## Pogo 金鉱山 (米国・アラスカ州)

権益比率 SMM 85%  
住友商事 15%



- ・マインライフ延長のため、積極的な周辺探鉱を継続
- ・2015年末 埋蔵量 Reserve 62t  
Resource 83t (Canada基準)

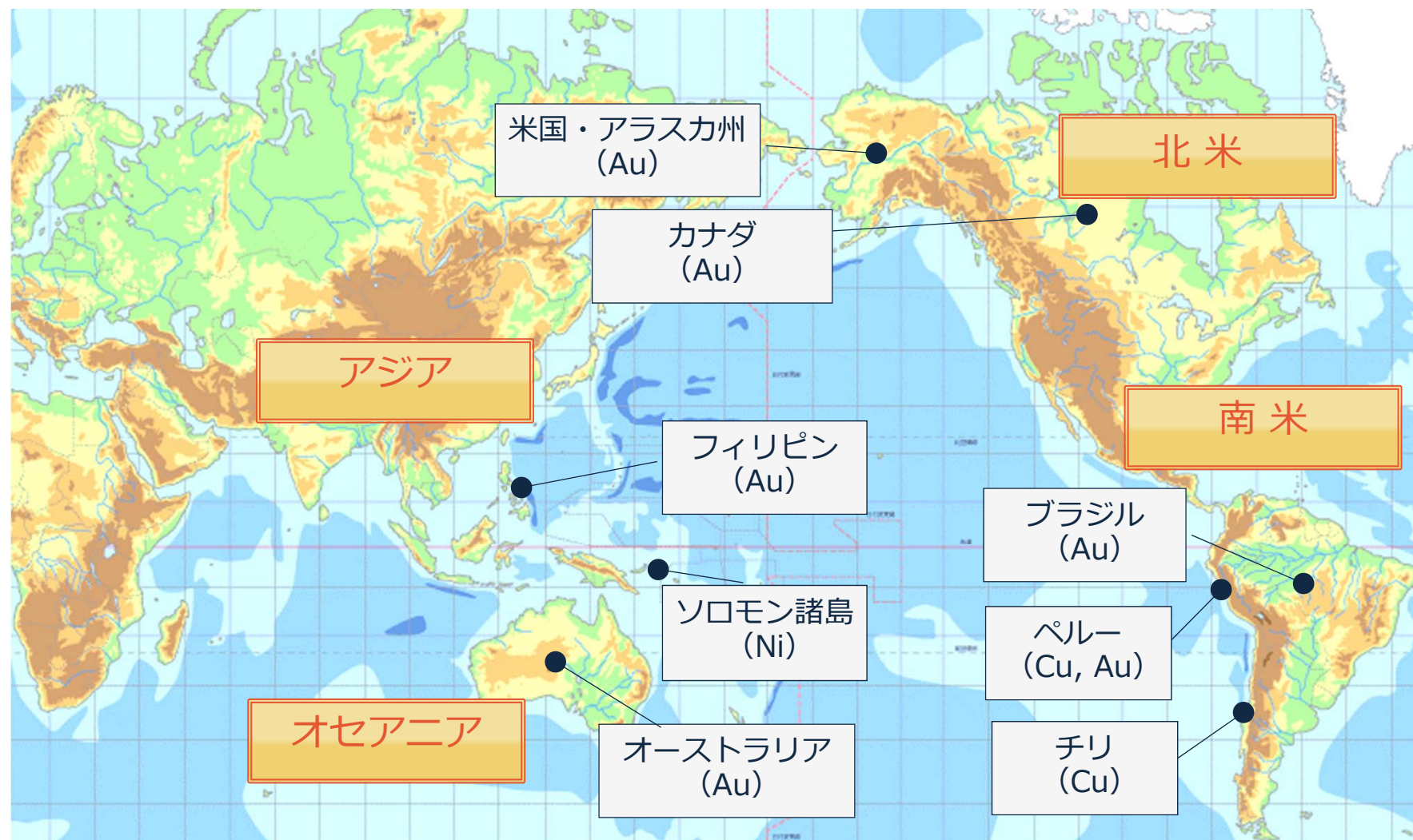




# 1) 資源 ⑤自社探鉱の推進

## 探鉱計画

16年度は金案件を重点的に推進



## 2) 製錬 ①銅製錬 競争力強化(1)

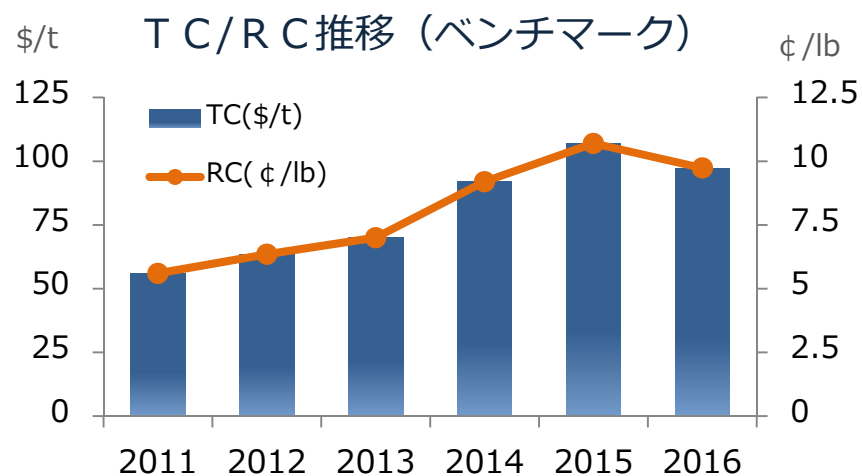
### 東予工場 生産計画

安定操業による  
45万トン体制のフル生産により  
TC/RC上昇メリットを享受

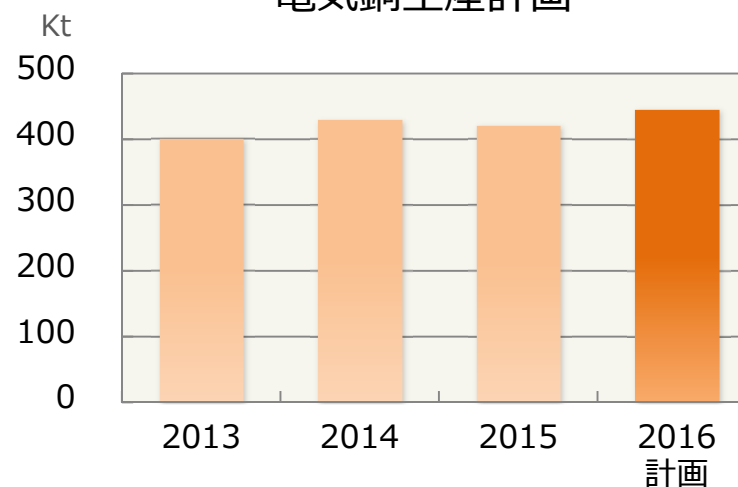


### 生産量

2016年度 445千t 過去最高の生産量を計画  
(大規模修繕の予定無し)



### 電気銅生産計画



## 2) 製錬 ①銅製錬 競争力強化(2)

### 東予工場 コスト競争力の強化

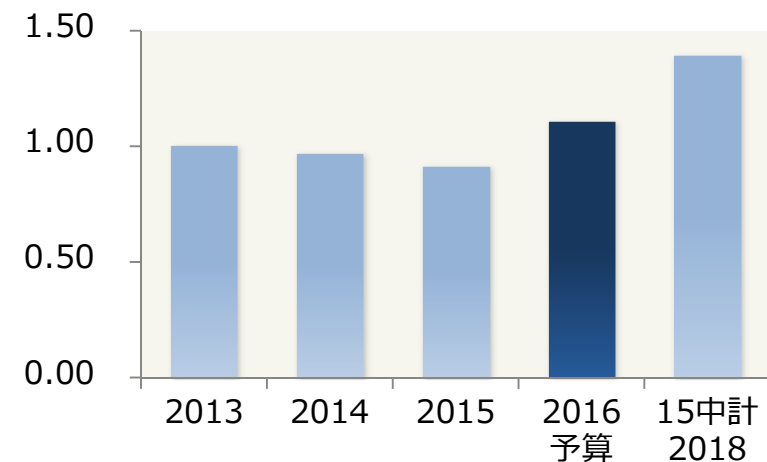
操業技術のさらなる改善  
不純物対応力強化  
二次原料集荷の強化



有利原料処理とコスト削減により  
世界トップの銅製錬所として  
収益性をさらに向上

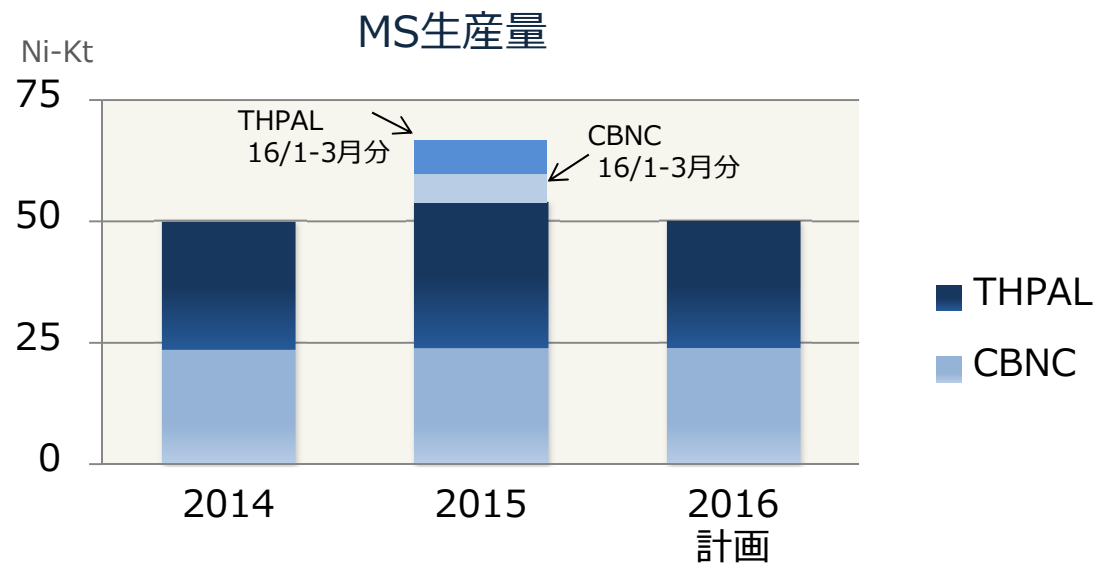


Index  
2013=1.0  
二次原料増集荷の強化



## 2) 製錬 ②THPAL・CBNC H P A L 60千トン体制

### CBNC・THPALの安定操業



### 生産量

2016年度	CBNC	24千t
	THPAL	26千t





## 2) 製錬 ③HPALからの新たなレアアース回収

### スカンジウム

タガニートでHPALの工程から中間製品を生産  
播磨事業所で最終製品（酸化スカンジウム）を生産

2018 商業生産開始予定 年産7.5t

投資額  
40億円

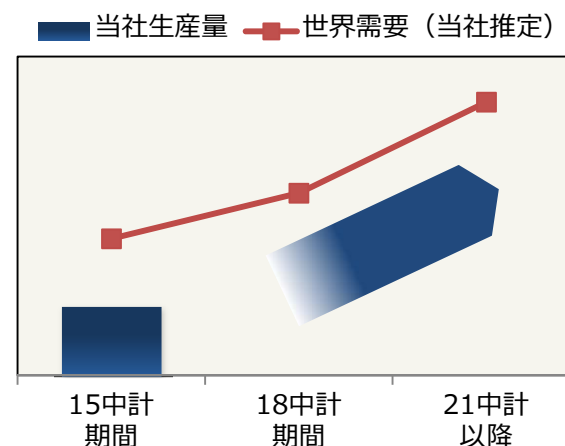
米国の大手企業と長期販売契約を締結

### 酸化スカンジウム

- ・ 固体酸化物燃料電池(SOFC)の添加剤として使用  
家庭用・業務用に大容量エネルギー 需要増加が見込まれる
- ・ アルミニウムへの添加剤（アルミ・スカンジウム合金）  
強度・耐食性・耐熱性に優れる 溶接が容易  
航空機・自動車向け用途拡大を期待
- ・ 新たな需要を開拓

現在の世界需要規模は10～15t/年（酸化スカンジウム換算）

### 生産計画



## 2) 製錬 ④フェロニッケル 最適生産体制

### (株)日向製錬所 フェロニッケル生産計画

インドネシア新鉱業法施行により  
鉱石単価 大幅に上昇  
鉱石品位低下により処理量が増加

2015年度4Q～  
2キルン－1電気炉操業へ移行

#### 生産量

2015年度 20千t

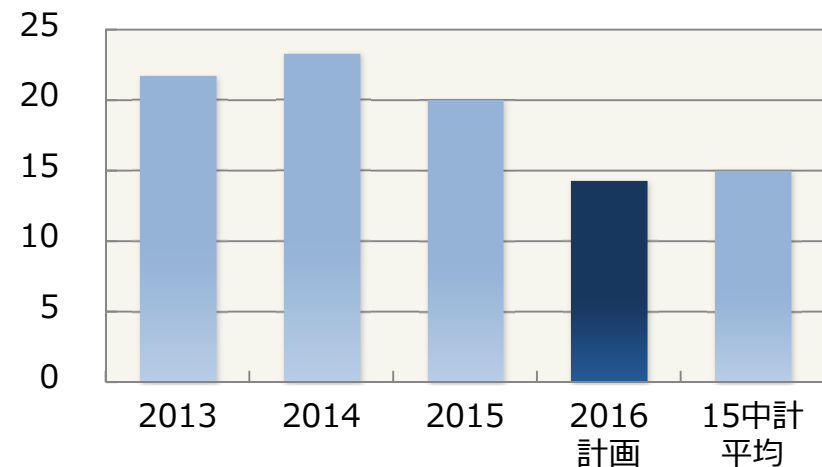
2016年度 14千t

コストミニマムとなる水準の生産量に  
安定した操業技術により収益確保をめざす



Ni-Kt

#### Fe-Ni 生産量



## 2) 製錬 ⑤ニッケル15万トン体制へ

### Pomalaa Project (インドネシア)

#### 概要

P.T.Vale Indonesiaが鉱業権を保有  
精錬所建設の可否に関するF/Sを実施

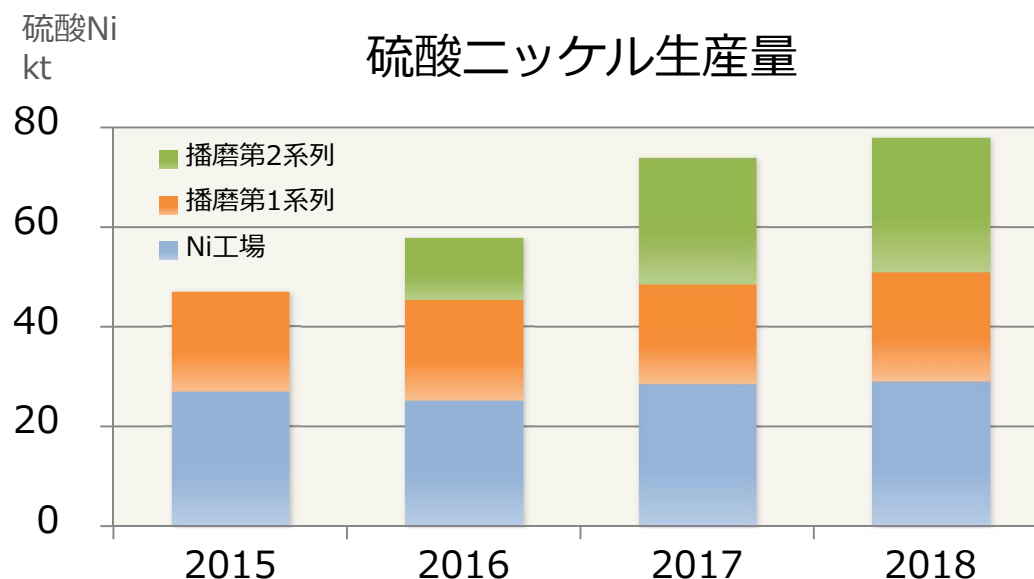
#### スケジュール

2015年 プラント位置の検討  
2017年 投資判断に向けたF/Sの実施



## 2) 製錬 ⑥硫酸ニッケル事業拡大

### 播磨事業所 硫酸ニッケル増産



2016年

播磨第2系列生産開始（下期）  
硫酸ニッケル生産量：33千t  
（このほかニッケル工場で25千t）

2017年

播磨49千t/年体制に  
向けた投資実行

2018年

播磨49千 t /年体制

（いずれも硫酸ニッケル量）

### 3) 材料 ①基本方針

## 15中計の事業戦略

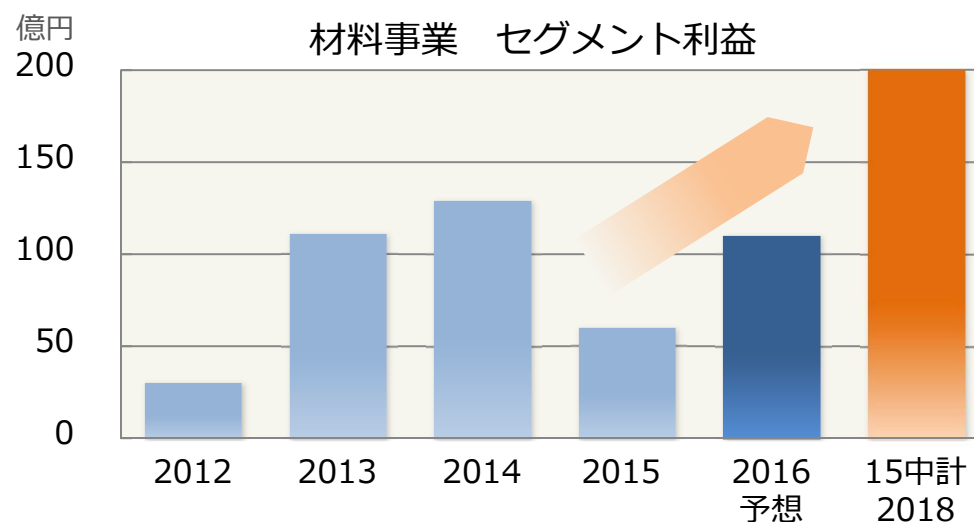
成長戦略への積極投資  
車載・環境分野/情報通信分野

選択と集中による  
新たな成長事業へのスムーズな移行

パートナーとしての顧客との関係強化  
開発段階から共同での商品開発

新規事業開発力の強化  
新商品を生み出す仕組みづくり

2016年度 セグメント利益計画 110億円  
電池材料・結晶材料の収益化を進める



### 3) 材料 ②電池材料

#### 電池材料をめぐる環境の変化

エコカー市場の急速な広がり と ニッケル系正極材採用の拡大  
自動車-電池メーカーのサプライチェーンに変化  
コバルト使用量拡大に伴う安定供給の重要性

#### 当社電池材料（正極材）の採用実績①

- ・ 水酸化ニッケル  
トヨタ自動車  
ハイブリッド車二次電池に使用
- ・ 三元系  
トヨタ自動車  
新型ハイブリッド車のリチウムイオン電池に採用



写真提供：トヨタ自動車株式会社

### 3) 材料 ②電池材料

#### 環境規制の強化

EU CO<sub>2</sub>規制 → PHEVの伸びが期待される  
カリフォルニア Zero Emission Vehicle規制  
その他各国で環境規制は強化



自動車への電池搭載の急速な増加

当社電池材料は  
ハイブリッド車・電気自動車双方に採用

#### 当社の強みと戦略

##### 当社の強み

原料に近い状態から高付加価値製品まで  
さまざまな製品形態で供給可能  
顧客ニーズに最新の粉体技術で応える  
ニッケル・コバルトの安定供給体制

##### 2016年度の戦略

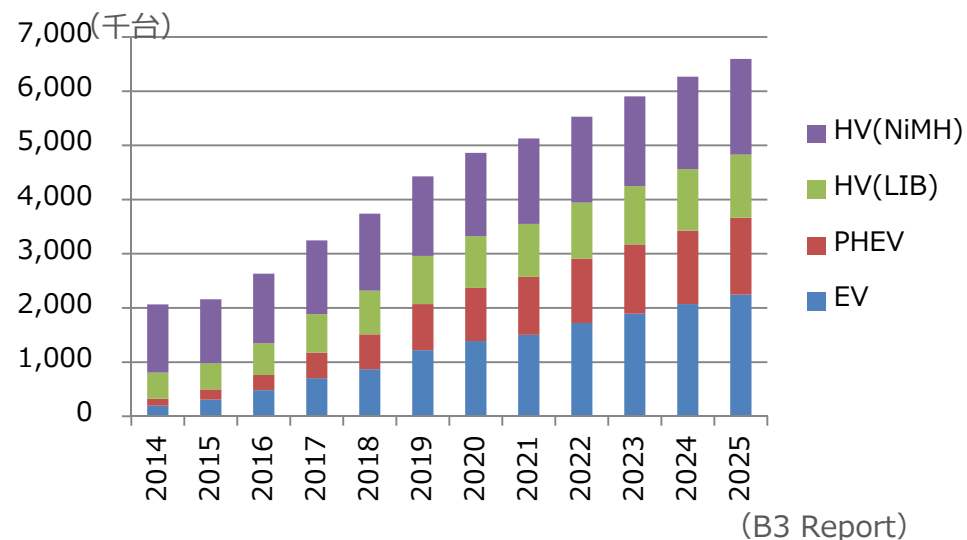
2016年3月 福島県楢葉新工場の竣工式を実施  
早期フル生産に向け認定取得を進める

さらなる増産体制に向けた検討

#### 当社電池材料（正極材）の採用実績②

・ NCA 電気自動車向けリチウムイオン電池に使用

xEV（電気自動車・ハイブリッド車）市場予測



### 3) 材料 ③結晶 (LT/LN)

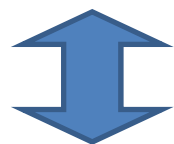
## デバイスの市場見通し

#### SAWフィルター

スマートフォンの通信大容量化  
→使用バンド数の増加

バンド増に伴い  
SAWフィルターの搭載数は  
大幅に増加

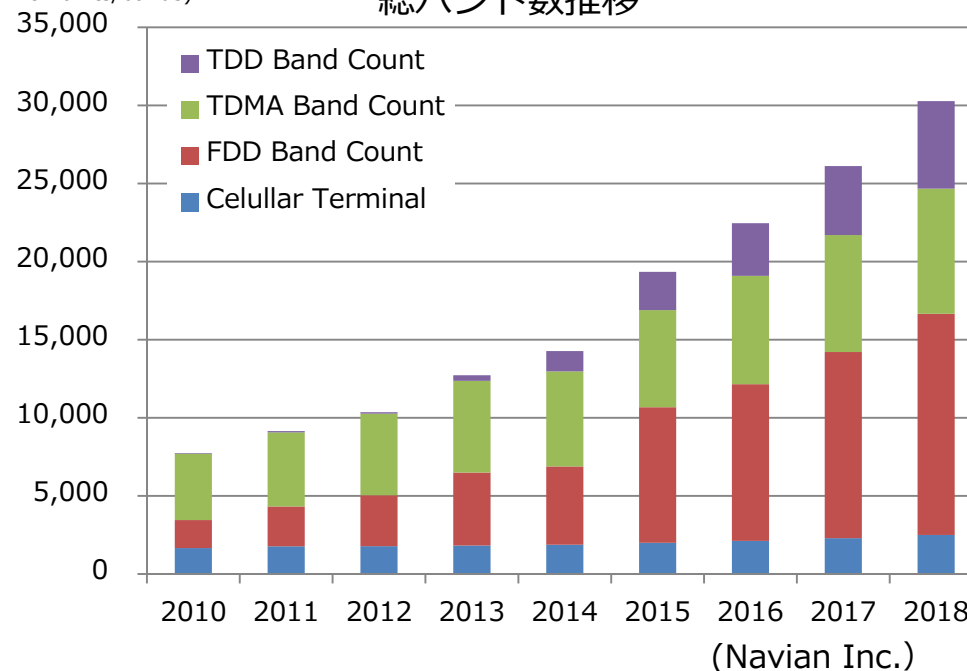
スマートフォン需要の伸び  
減速も見込まれる



SAWフィルター需要  
引き続き増加

(Million units/bands)

総バンド数推移



スマートフォン 1 台あたりのSAWデバイス数

ローエンド	ミドルレンジ	ハイエンド
9～12個	12～20個	20～40個

(株)村田製作所推計)



### 3) 材料 ③結晶 (LT/LN)

#### 結晶材料 増産体制の構築

##### SAWフィルター向けLT・LN結晶基板

**2014年12月**

12万枚/月→21万枚/月への増強を決定

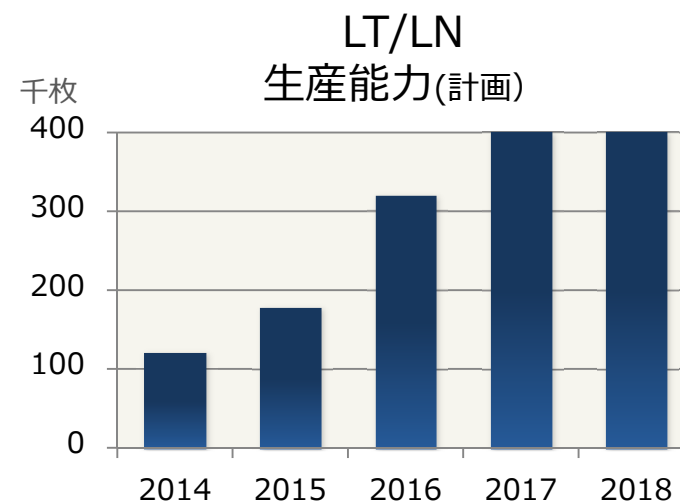
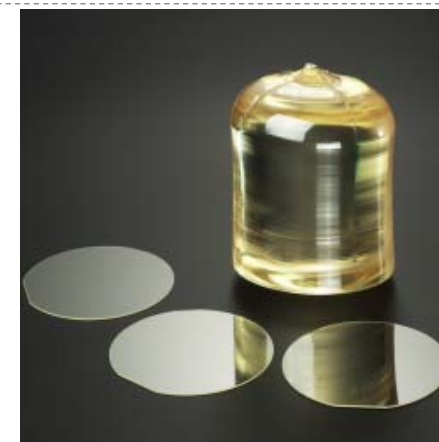
**2015年3月**

21万枚→30万枚/月への増強を決定  
世界トップシェアへ

**2016年5月現在**

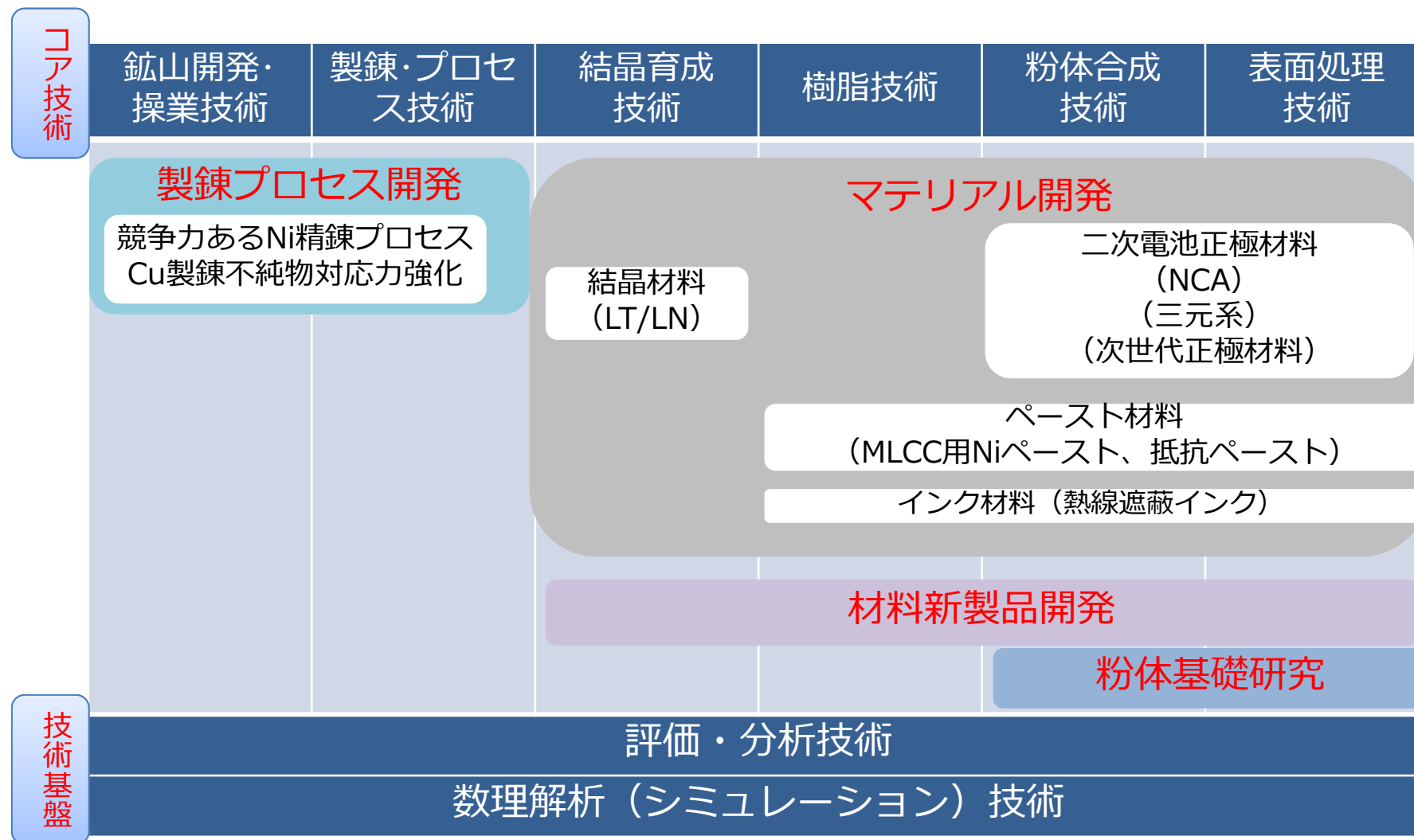
30万枚/月体制が完成

2017年9月の40万枚/月体制完成に向け  
設備投資を進める



## 4) 研究開発

### 成長戦略分野に研究開発を集中



## IV.事業を取り巻く環境

I

12中計振り返りと15中計戦略

II

業績推移・資産内容

III

15中計の推進

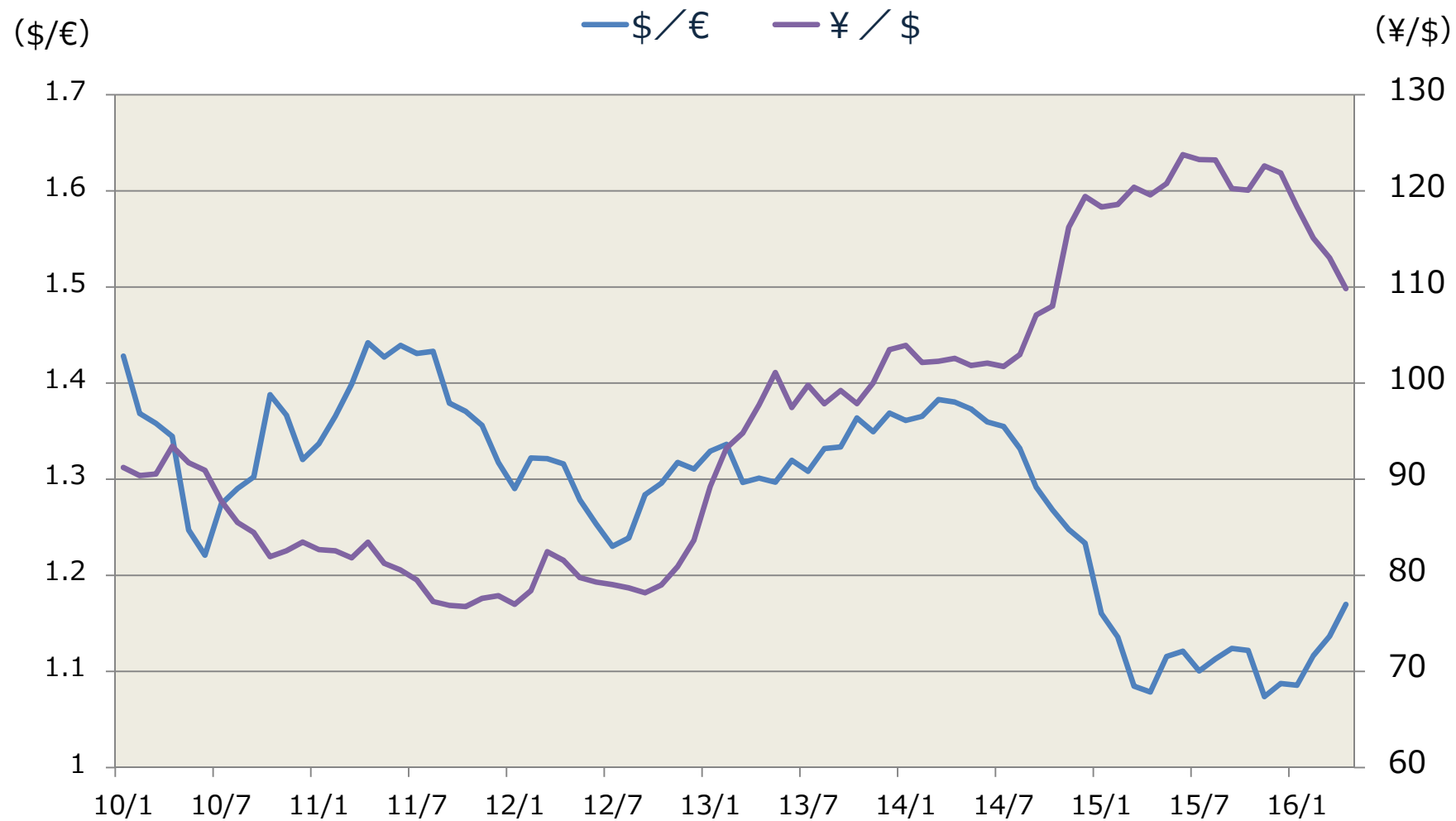
IV

事業を取り巻く環境

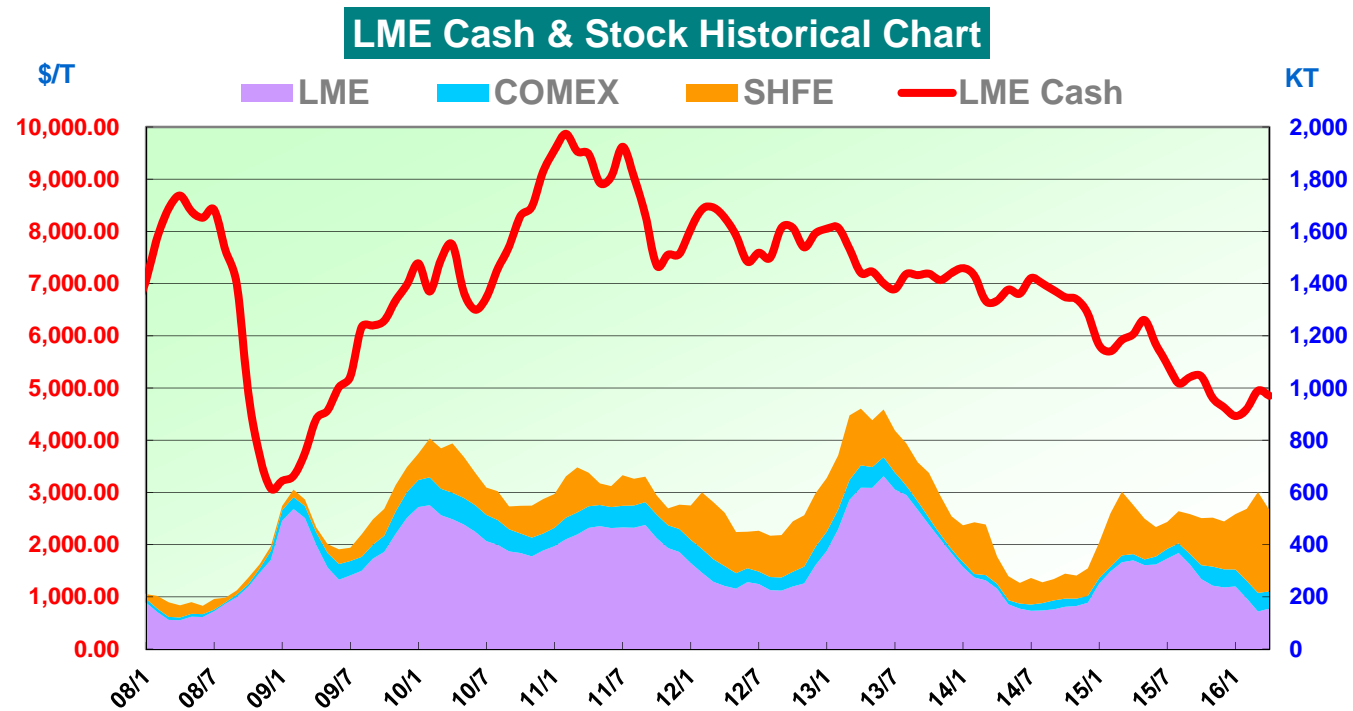
V

業績ハイライト/資料編

# 1) 為替レート推移



## 2) Cu相場推移・需給バランス予測

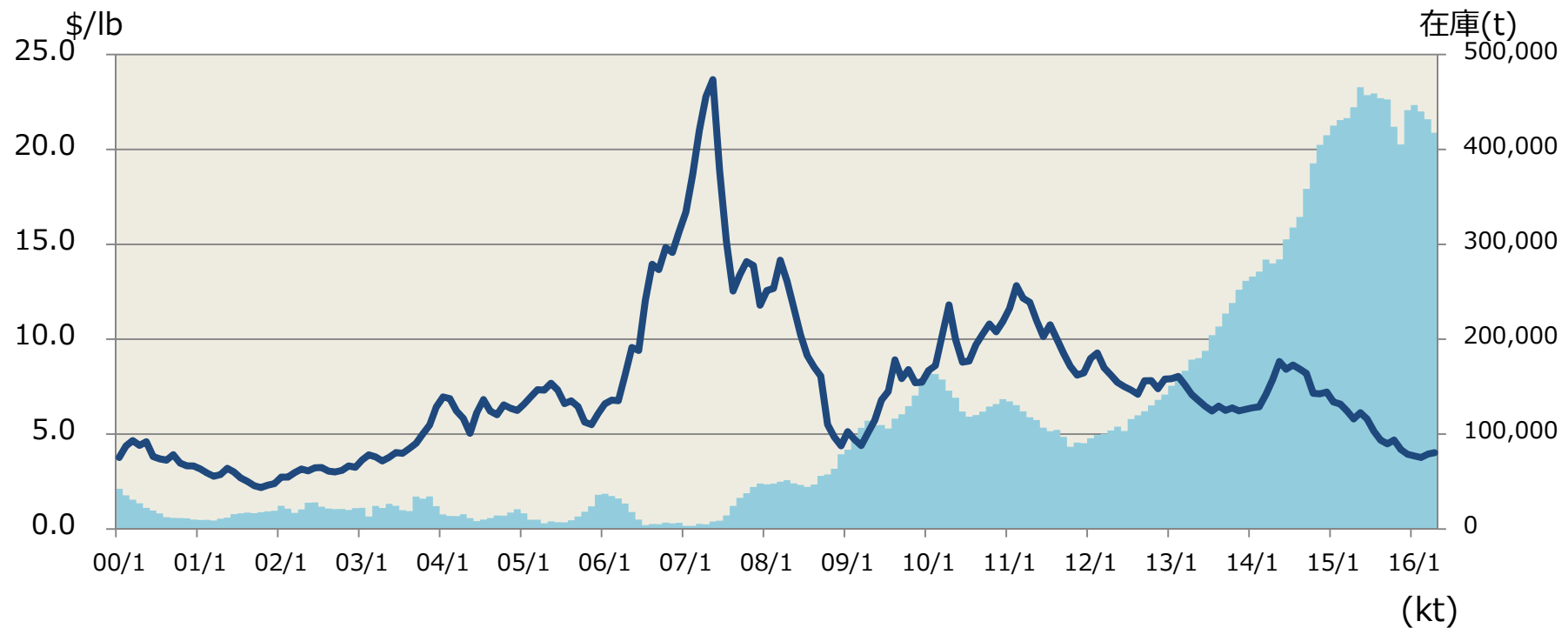


[ICSG予測2016/3]

(kt)

	2015	2016	2017
Production	22,821	22,943	23,436
Usage	22,878	23,000	23,416
Balance	-57	-56	20

### 3) Ni相場推移・需給バランス予測



	INSG予測 2016/04			SMM予測 2016/04		
	2014	2015	2016	2014	2015	2016
Production	1,999	1,983	1,913	1,981	1,959	1,834
Usage	1,869	1,891	1,962	1,933	1,893	1,914
Balance	130	92	-49	48	66	-80

## 4) Au相場推移

(\$/Toz)

London Au Prices



## V. 業績ハイライト/資料編

I

12中計振り返りと15中計戦略

II

業績推移・資産内容

III

15中計の推進

IV

事業を取り巻く環境

V

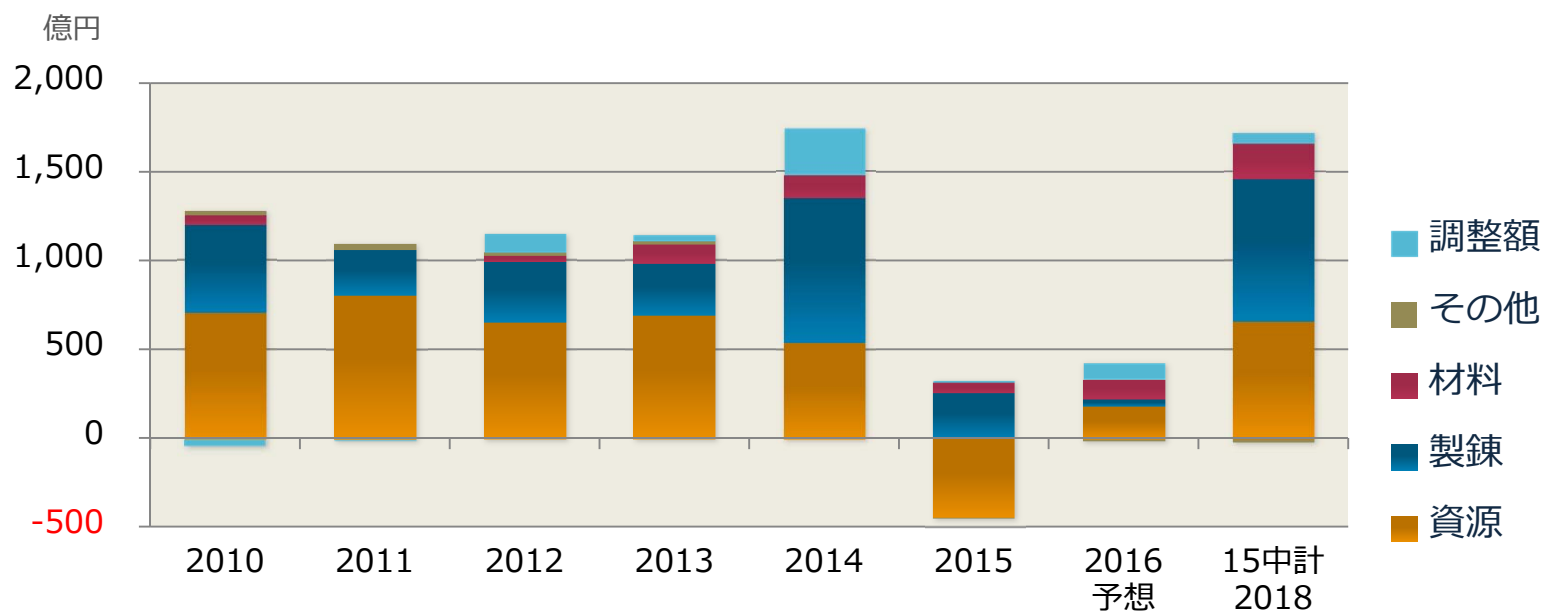
業績ハイライト/資料編



# 1) 業績推移

	2011	2012	2013	2014	2015	2016 予想	15中計 2018試算
売上高 (億円)	8,479	8,085	8,305	9,213	8,554	7,330	10,600
営業利益 (億円)	886	958	754	1,258	597	460	1,400
経常損益 (億円)	1,088	1,150	1,144	1,742	-128	410	1,700
内 持分法投資損益 (億円)	232	171	298	239	-732	-130	270
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	653	866	803	911	-3	230	1,200
ROA (%)	5.9	6.9	5.5	5.5	-0.0	-	6
ROE (%)	10.1	12.1	9.5	9.3	-0.0	-	10
1株あたり配当金 (円)	28.0	34.0	37.0	48.0	31.0	13.0	N/A
銅 (\$/T)	8,485	7,855	7,104	6,554	5,215	5,000	6,000
ニッケル (\$/lb)	9.6	7.7	6.5	7.6	4.7	3.75	7.0
金 (\$/Toz)	1,646	1,654	1,327	1,248	1,150	1,200	1,150
為替 (¥/\$)	79.1	83.1	100.2	109.9	120.2	110.0	120.0

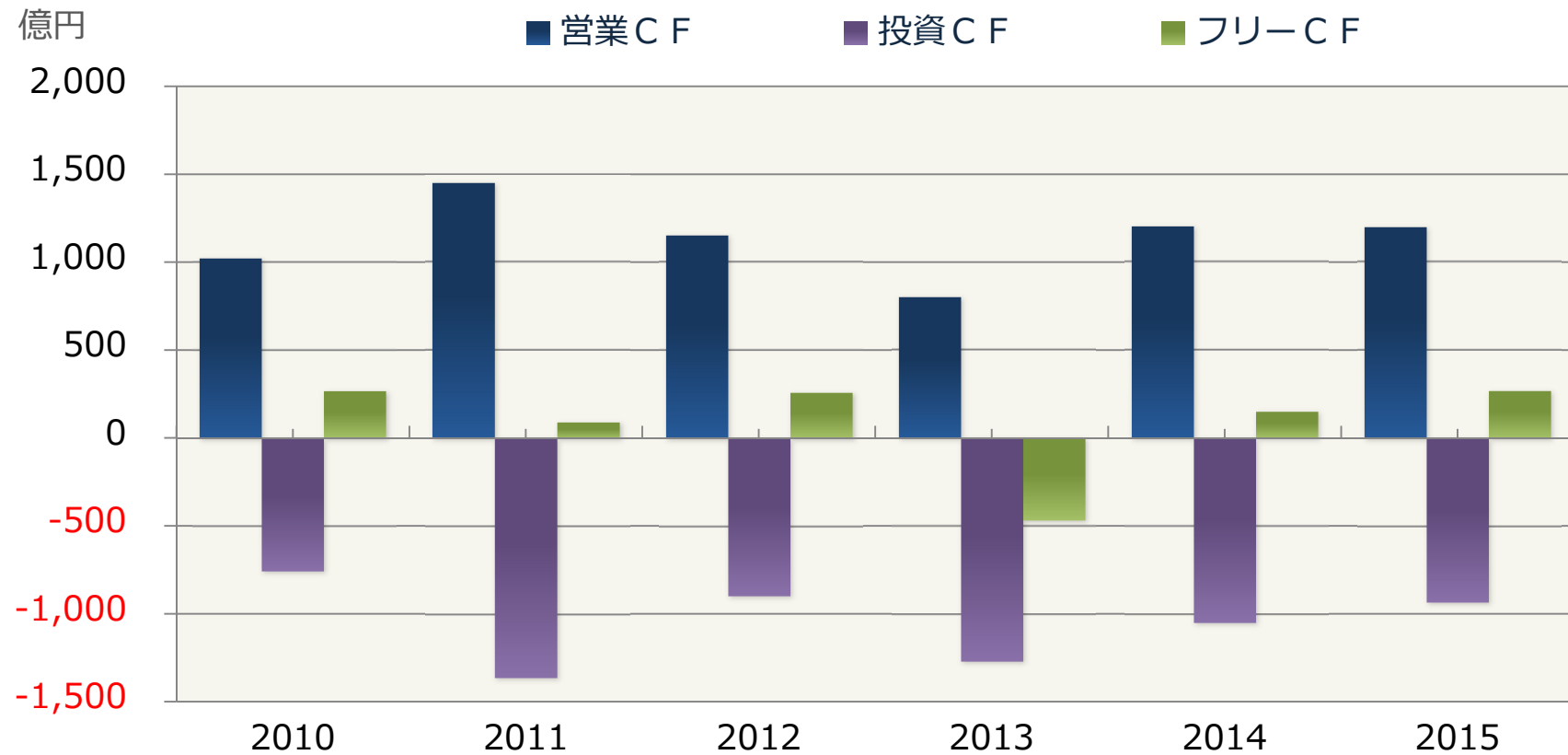
## 2) セグメント利益



		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016 予想	15中計 2018
セグメント利益	資源	704	806	652	691	538	-443	180	660
	製錬	495	256	339	291	813	253	40	800
	材料	54	-3	38	111	129	60	110	200
	その他	23	34	16	16	-1	-8	-10	-20
調整額		-39	-5	105	35	263	10	90	60
経常利益計		1,237	1,088	1,150	1,144	1,742	-128	410	1,700

億円

### 3) キャッシュフロー推移



## 4) センシティブティ試算

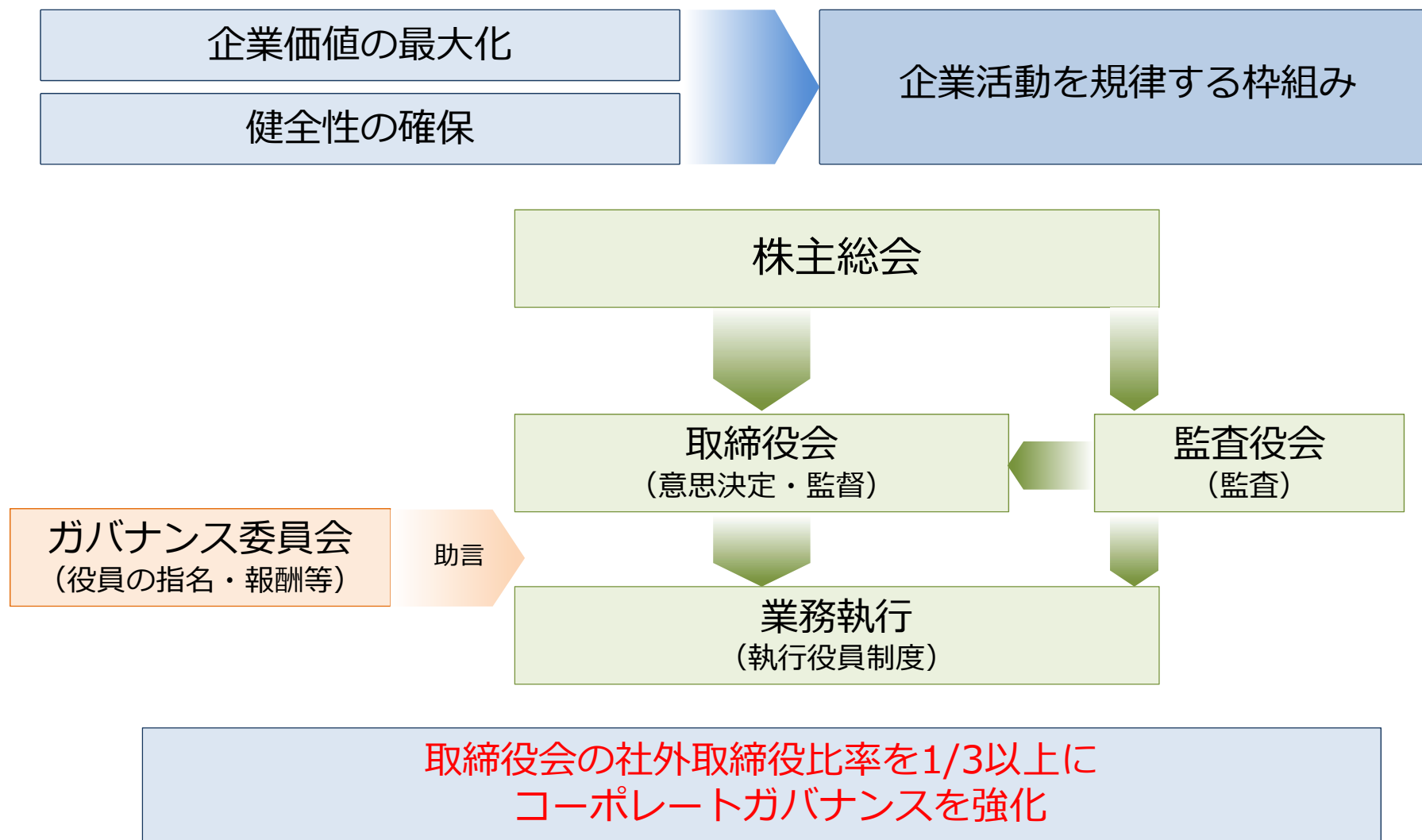
単位：億円

要素	変動幅	2016年度試算 営業利益/経常利益
Cu	±100\$/t	14/28
Ni	±10 ¢ /lb	16/18
Au	±10\$/toz	5/5
円/\$	±1円/\$	7/5

(注) 円/\$ は国内の金属加工収入および海外換算為替差の合計

## 5) コーポレートガバナンス

### 当社のコーポレートガバナンス



## ご注意

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因の影響を受けます。

したがって、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

住友金属鉱山株式会社